

三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事

実施設計図

2022年 11月

田中建築事務所

<p>三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事</p> <p>工事設計図 令和 4年 11月 (全 44 枚)</p> <p>特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 三重県四日市市大字日永5450番地132</p> <p>2. 敷地面積 52,309.01㎡</p> <p>3. 工事種目 既存本館 カルテ庫の内部改修工事</p> <p>1. 建築工事 一式</p> <p>2. 電気設備工事 一式</p> <p>3. 機械設備工事 一式</p> <p>4. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</p> <p>・「3. 工事種目」のうち工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</p> <p>・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <tr><td>2 仮設工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>3 土工</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>4 地業工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>5 鉄筋工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>6 コンクリート工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>7 鉄骨工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>9 防水工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>10 石工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>11 タイル工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>12 木工</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>13 屋根及びとい工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>14 金属工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>15 左官工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>16 建具工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>17 カーテンウォール工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>18 塗装工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>19 内装工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>20 ユニット及びその他の工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>21 排水工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>22 舗装工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>23 舗装及び屋上緑化工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> </table>	2 仮設工事	工事範囲すべて	3 土工	工事範囲すべて	4 地業工事	工事範囲すべて	5 鉄筋工事	工事範囲すべて	6 コンクリート工事	工事範囲すべて	7 鉄骨工事	工事範囲すべて	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	工事範囲すべて	9 防水工事	工事範囲すべて	10 石工事	工事範囲すべて	11 タイル工事	工事範囲すべて	12 木工	工事範囲すべて	13 屋根及びとい工事	工事範囲すべて	14 金属工事	工事範囲すべて	15 左官工事	工事範囲すべて	16 建具工事	工事範囲すべて	17 カーテンウォール工事	工事範囲すべて	18 塗装工事	工事範囲すべて	19 内装工事	工事範囲すべて	20 ユニット及びその他の工事	工事範囲すべて	21 排水工事	工事範囲すべて	22 舗装工事	工事範囲すべて	23 舗装及び屋上緑化工事	工事範囲すべて	<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 標準仕様書 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。</p> <p>2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（E-01）図、機械設備工事の特記仕様書は（M-01）図による。</p> <p>3. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) □印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（平成31年2月閣議決定）に定める判断の基準を満たす物品を示す。</p> <p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>1 一般共通事項</p> <p>①適用基準等 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○建築物解体工事共通仕様書（平成31年版） 国土交通省大臣官庁営繕部 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ○建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官庁営繕部整備課 その他 .</p> <p>②工事実績情報サービスへの登録 (1.1.4) ※適用する</p> <p>3 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (V0= m/s) 地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ) ・積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ()</p> <p>④工事写真の撮影対象 (1.2.4) ※常精工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（平成30年版）国土交通省大臣官庁営繕部監修による。</p> <p>⑤電気保安技術者 (1.3.3) ※適用する</p> <p>⑥施工条件 (1.3.5) ○工事車両の駐車場所 ※図示 ○資機材置場 ※図示 ・建設発生土置場 ※図示 .</p> <p>⑦養生材の処理等 (1.3.11) ○構外搬出適切処理</p> <p>⑧環境への配慮 (1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>⑨材料の品質等 (1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔一社〕公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既設合モルタル、既設合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（木下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（木下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、鋸前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、</p>	<p>⑩技能士</p> <table border="1"> <tr><td>適用工事種別</td><td>技能検定作業 (1.5.2)</td></tr> <tr><td>仮設工事</td><td>・とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>・鉄筋組立て作業</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>・型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>・構造物鉄工作業</td></tr> <tr><td>コンクリートブロック・ALCパネル</td><td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業</td></tr> <tr><td>押出成形セメント板工事</td><td>・押出成形セメント板工事</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系接着防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>・石張り作業</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>・タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木工</td><td>・大工工事作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>・左官作業</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>・ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td></tr> <tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>○建築塗装作業</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁張作業</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>・建築配管作業</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>・溶融ペイントハンドマーカ-工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ-工事作業</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>・造園工事作業</td></tr> </table> <p>(1.5.9)</p> <p>⑪化学物質の濃度測定 (1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 (2) 測定対象室及び測定箇所は監督職員の指示によるものとし、新棟4か所、既存棟1か所合計5か所程度見込むこと。 (3) 測定は、パッシブ型採取機器により行う。</p> <p>⑫設計図 ○設計図（A1、A3判）を背貼製本の監督職員に提出する。印刷・製本費用は請負者負担とする。（大冊になる場合は分冊とする。表紙及び背表紙には「年度」、「施設名」、「工事名」、「工事区分」を記載し『設計図』との表記をすること。詳細は監督職員の指示による。） 提出部数 建築（A1判） ○ 2部 （病院1部、現場事務所1部） 建築（A3判） ○ 5部 （病院2部、事務所3部）</p> <p>⑬作成図書 ○各種施工図及び総合図（平面図・天井伏図・展開図）、総合立面図、総合外構図を作成する事 (1.1.1~3) (表1.7.1)</p> <p>⑭完成時の提出図書 ※竣工図 提出部数 (表紙、背表紙の表記は設計図同様とし、『竣工図』と記す。) 原図 ※ (A1版)1部 ・ (A3版)1部 白コピー製本 ○ (A1版)1部 ○ (A3版)2部 (病院1部、事務所1部) CADデータ ※ オリジナル形式 (JWW形式) 電子データ ※ PDF形式 提出媒体 ※ CD-RまたはDVD-R 2部 (病院1部、事務所1部) ※竣工図・総合図等全図 (図面リスト付) 提出部数 原図 ※ (A1版)1部 ○ (A3版)1部 (病院1部) 白コピー製本 ※ (A1版)1部 ○ (A3版)2部 (病院1部、事務所1部) CADデータ ※ オリジナル形式 (JWW形式) 電子データ ※ PDF形式 提出媒体 ※ CD-RまたはDVD-R 2部 (病院1部、事務所1部) ※安全に関する資料 提出部数 A4ファイル綴じ ※ 2部 ・ 部 ※確認検査済書、各種検査記録 A4ファイル綴じ ※ 2部 ・ 部 電子データ ※ PDF形式 提出媒体 ※ CD-RまたはDVD-R 2部 (病院1部、事務所1部) ※工事進捗写真 (撮影位置の判るもの付)：紙焼き(1部)電子データ(2部) A4ファイル綴じ ※ 2部 ・ 部 電子データ ※ PDF形式 提出媒体 ※ CD-RまたはDVD-R 2部 (病院1部、事務所1部)</p> <p>⑮完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 面数・面質等 ○カラー ※キャビネ版 外部(内夜景()) ※3 ・ ※1000万画素以上 鳥瞰(内夜景()) 内部(5) ・カラー四切木製パネル 外部() 内部() ※2 ・ ・カラー全紙木製パネル 外部() 鳥瞰() ※各3 ・ ○電子データ 外部(内夜景()) ※3 ・ 鳥瞰(内夜景()) 内部(5) ○電子データは、RGB(フルカラー)、JPE形式最高画素とし、CD-Rにて提出する。 ○建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。</p> <p>⑯他工事又は他工種との取合い</p> <p>⑰設計GL</p>	適用工事種別	技能検定作業 (1.5.2)	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	・型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・構造物鉄工作業	コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業	押出成形セメント板工事	・押出成形セメント板工事	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系接着防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	○建築塗装作業	内装工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁張作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカ-工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ-工事作業	舗装工事	・造園工事作業	<p>4 地業工事</p> <p>1 支持地盤 ・杭基礎 (4.2.1)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐり先の先端位置含む） ・図示による ()</p> <p>・直接基礎 (4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・図示による ()</p> <p>試験掘り（掘り底の状態の確認等） (3.2.1) ・行わない ・行う 位置等 ・図示による ()</p> <p>・杭の載荷試験 (4.2.3) 試験の位置、方法等 ・図示による ()</p> <p>・地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験の位置、方法等 ・図示による ()</p> <p>2 既製コンクリート杭地業 (4.3.3) 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2)(4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度(N/mm²)</th> <th>杭径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力(KN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.3) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形</p> <p>・セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.4) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による () 掘削深さ ・図示による () 杭の支持層への掘入深さ ・図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=() 工法 ・プレローリング拡大掘削工法 ・中掘り拡大掘削工法</p> <p>杭周固定液 ・使用する ・使用しない</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ・図示による () 杭の支持層への掘入深さ ・図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・図示による内容による 杭の傾斜 ※評定等による内容による</p> <p>杭継手工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・無溶接継手（継手に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による</p> <p>杭頭処理 (4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による ()</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調のもの</p>		種類	コンクリート強度(N/mm ²)	杭径(mm)	長さ(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(KN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭								本杭	上杭 中杭 下杭							
2 仮設工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
3 土工	工事範囲すべて																																																																																																																			
4 地業工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
5 鉄筋工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
6 コンクリート工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
7 鉄骨工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
9 防水工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
10 石工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
11 タイル工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
12 木工	工事範囲すべて																																																																																																																			
13 屋根及びとい工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
14 金属工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
15 左官工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
16 建具工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
17 カーテンウォール工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
18 塗装工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
19 内装工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
20 ユニット及びその他の工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
21 排水工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
22 舗装工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
23 舗装及び屋上緑化工事	工事範囲すべて																																																																																																																			
適用工事種別	技能検定作業 (1.5.2)																																																																																																																			
仮設工事	・とび作業																																																																																																																			
鉄筋工事	・鉄筋組立て作業																																																																																																																			
コンクリート工事	・型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業																																																																																																																			
鉄骨工事	・構造物鉄工作業																																																																																																																			
コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業																																																																																																																			
押出成形セメント板工事	・押出成形セメント板工事																																																																																																																			
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系接着防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業																																																																																																																			
石工事	・石張り作業																																																																																																																			
タイル工事	・タイル張り作業																																																																																																																			
木工	・大工工事作業																																																																																																																			
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																																																																																																			
金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業																																																																																																																			
左官工事	・左官作業																																																																																																																			
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																																																			
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																																																																																																			
塗装工事	○建築塗装作業																																																																																																																			
内装工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁張作業																																																																																																																			
排水工事	・建築配管作業																																																																																																																			
舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカ-工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ-工事作業																																																																																																																			
舗装工事	・造園工事作業																																																																																																																			
	種類	コンクリート強度(N/mm ²)	杭径(mm)	長さ(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(KN/本)	備考																																																																																																												
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																			
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																			
<p>備考 一級建築士 第 343522 号 原田 恵章</p>	<p>工事名称 三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事</p>	<p>田中建築事務所</p>	<p>設計 製図 設計番号 年月日・ 2022・ 11・</p>	<p>建築工事特記仕様書(1) A1S1: A3S1: A — 02</p>																																																																																																																

4 地業工事 （続き）	3 鋼杭地業	寸法、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セッ ト数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で$\alpha=250$を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 $\alpha = ()$、$\beta = ()$、$\gamma = ()$</p> <p>工法 ・中掘り拡大掘削工法 ・</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ・図示による ()</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による</p> <p>杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (4.3.8)(4.4.6) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断をとまなう補強方法含む） ・図示による ()</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調のもの</p>	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セッ ト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭							本杭	上杭 中杭 下杭							鉄筋かごの補強 (4.5.4) ・図示による () ・杭径1.5m以下の場合鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4) ※重ね継手 重ね継手の長さ ・図示による ()</p> <p>主筋の基礎底壁への定着長さ (4.5.4)(5.3.4) ・図示による ()</p> <p>セメントの種類 (4.5.4) ※高炉セメントB種 [G]</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (4.5.4) ・図示による ()</p> <p>コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1) ・A種 ・B種 ・評定等の内容による</p> <p>スランプ (4.5.4) ※18cm</p> <p>構造体強度補正值 (S) (4.5.4) ・3N/mm² ・図示による () ・評定等の内容による</p>	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） ・標準仕様書 表5.3.6による ・図示による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・あり 使用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm <p>5 各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 ※図示による</p> <p>6 圧接完了後の試験 (5.4.10)(5.4.11) 外観試験 ※行う（全ての圧接部） 採取試験 ※超音波探傷試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。 ・引張試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200か所を超えるときは200か所ごととする。 試験の箇所数：1ロットに対して（ ・3本 ・5本 ）とする。</p> <p>7 機械式継手 (5.5.2) 適用箇所 ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 ・図示による () 鉄筋相互のあき (5.3.5)(5.5.2) ・図示による () 施工完了後の継手部の試験 (5.5.2) ・図示による () 不合格となった継手部への措置 (5.5.2) ・図示による ()</p> <p>8 溶接継手 (5.6.3) 適用箇所 ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・図示による () 溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3) ・図示による () 不合格となった継手部への措置 (5.6.3) ・図示による ()</p>	4 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1) ・図示による () 6 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.5) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> </p> <p>7 打増し厚さ（打放し仕上げ部） (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ・20mm ・図示による () ・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()</p> <p>8 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・合板（※12mm） [G] ・断熱材の兼用した型枠 使用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による ()</p> <p>9 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1) 種類 ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による () スランプ ※21cm</p> <p>10 寒中コンクリート (6.11.1) 適用期間 ・図示による () ・積算温度を基に定める場合 ・図示による ()</p> <p>11 暑中コンクリート (6.12.2) 構造体強度補正值 (S) ※6N/mm²</p> <p>12 マスコンクリート (6.13.1) 適用箇所 ・図示による () ・リニアック室 セメントの種類 (6.13.2) ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料 (6.13.2) ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 ・スランプ (6.13.2) ※15cm ・18 構造体強度補正值 (s) (6.13.2) ※表6.13.11による</p>	種別	適用箇所	・A種	※図示による ()	・B種	※図示による ()	・C種	※図示による ()	種別	適用箇所	・a種	※図示による ()	・b種	※図示による ()	・c種	※図示による ()																	
		種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セッ ト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																					
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																													
本杭	上杭 中杭 下杭																																																													
種別	適用箇所																																																													
・A種	※図示による ()																																																													
・B種	※図示による ()																																																													
・C種	※図示による ()																																																													
種別	適用箇所																																																													
・a種	※図示による ()																																																													
・b種	※図示による ()																																																													
・c種	※図示による ()																																																													
4 場所打ちコンクリート杭地業	5 鉄筋工事 1 鉄筋 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 2 溶接金網 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋椅子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3) <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱及び梁主筋</td> <td>・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記以外 ()</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>継手位置 (5.3.4) ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）1.1、2.1、3.1、3.4、3.5、4.2） 基礎梁主筋の継手位置 ・図1.2 ・図1.3 ・図1.4 ・図示による ()</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ・図示による ()</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ・標準仕様書表5.3.2による ・標準仕様書 5.3.4(3)(7)による ・図示による ()</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※標準仕様書表5.3.4による</p>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295A	※ D16以下		・SD345	※ D19以上		・			・			種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網		・図示による		・鉄筋椅子				部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	・	上記以外 ()	・重ね継手	・	6 コンクリート工事 ①コンクリートの類別等 (6.2.1) コンクリートの種別 ※I類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・II類（JIS A 5308に適合したコンクリート） ※普通コンクリート (6.2.1~4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>・15又は18 ・18</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>・18</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>・15</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による ・</p> <p>2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、中熱ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所（※下記以外全て） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()</p> <p>3 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m³以下）</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	・24	・15又は18 ・18	図示による	・21	・18	図示による	・18	・15	図示による	・	・		・	・	
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																												
・SD295A	※ D16以下																																																													
・SD345	※ D19以上																																																													
・																																																														
・																																																														
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																											
・溶接金網		・図示による																																																												
・鉄筋椅子																																																														
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																												
柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上																																																												
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・																																																												
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	・																																																												
上記以外 ()	・重ね継手	・																																																												
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																												
・24	・15又は18 ・18	図示による																																																												
・21	・18	図示による																																																												
・18	・15	図示による																																																												
・	・																																																													
・	・																																																													

12 木工事	1 表面仕上げ (12.1.4)	<p>表面仕上げの種類</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・A種</td><td></td></tr> <tr><td>・B種</td><td></td></tr> <tr><td>・C種</td><td></td></tr> <tr><td>・H-A種</td><td></td></tr> <tr><td>・H-B種</td><td></td></tr> <tr><td>・H-C種</td><td></td></tr> </table>	種類	適用箇所	・A種		・B種		・C種		・H-A種		・H-B種		・H-C種																																																																																							
	種類	適用箇所																																																																																																				
	・A種																																																																																																					
	・B種																																																																																																					
	・C種																																																																																																					
	・H-A種																																																																																																					
	・H-B種																																																																																																					
	・H-C種																																																																																																					
	2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)	<p>「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (表12.2.1)(表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※2級</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※2級</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※上小節</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> <tr><td>見え掛り面</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> <tr><td>見え掛り面以外</td><td></td><td></td><td>※小節以上</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※1等</td><td></td><td>※10%以下</td><td>・A種・B種</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※1等</td><td></td><td>※10%以下</td><td>・A種・B種</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理の適用</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>()</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>()</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理				※2級		※A種・B種					※2級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理				※上小節		※A種・B種		見え掛り面					※A種・B種		見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理				※1等		※10%以下	・A種・B種				※1等		※10%以下	・A種・B種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率				()	・適用する ・適用しない	※A種・B種				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種				()	・適用する ・適用しない	※A種・B種						
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理																																																																																															
				※2級		※A種・B種																																																																																																
				※2級		※A種・B種																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理																																																																																																
			※上小節		※A種・B種																																																																																																	
見え掛り面					※A種・B種																																																																																																	
見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種																																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理																																																																																																
			※1等		※10%以下	・A種・B種																																																																																																
			※1等		※10%以下	・A種・B種																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率																																																																																																	
			()	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																	
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																	
			()	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																	
3 造作用集成材 (12.2.1)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>「集材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面数</th><th>見付け材面の品質</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面数</th><th>見付け材面の品質</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「集材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面の品質</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「集材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15以下</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※1等・2等					※1等・2等	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質							※1等・2等							※1等・2等	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質						※15以下						※15以下	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15以下					※15以下	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率							※15以下							※15以下											
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																		
				※1等・2等																																																																																																		
				※1等・2等																																																																																																		
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																
						※1等・2等																																																																																																
						※1等・2等																																																																																																
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質																																																																																																	
					※15以下																																																																																																	
					※15以下																																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																		
				※15以下																																																																																																		
				※15以下																																																																																																		
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																
						※15以下																																																																																																
						※15以下																																																																																																
4 造作用単板積層材 (12.2.1)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し (等級: ・1等 ・2等 ・3等)</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>含水率</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()</td><td>※14%以下</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()</td><td>※14%以下</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>・CLT (直交集成材) (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>曲げ性能 (強度等級)</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し (等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()	※14%以下	・適用する ・適用しない			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()	※14%以下	・適用する ・適用しない	施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)																																																																								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用																																																																																																			
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し (等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・適用する ・適用しない																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用																																																																																																		
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()	※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																		
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し ()	※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																		
施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)																																																																																																	
5 床張り用合板等 (12.2.1)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td>※5.5</td><td></td><td>※1類・2類</td><td>広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>等級</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理の適用</th><th>強度等級</th></tr> <tr><td></td><td>※12</td><td>・1級 ・2級以上</td><td>※1類 ・特類</td><td>※C-D以上</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> <tr><td></td><td>※12</td><td>・1級 ・2級以上</td><td>※1類 ・特類</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・1類 ・特類</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>化粧板に使用する単板の樹種名</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>単板の樹種名</th><th>化粧加工の方法</th><th>防虫処理の適用</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p> <p>・パーティクルボード (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>接着剤による区分</th><th>難燃性による区分</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>※13タイプ</td><td>※P又はM</td><td></td><td>※15</td></tr> </table> <p>構造用パネル</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>等級</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td></td><td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td><td></td></tr> </table> <p>・MDF (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>接着剤による区分</th><th>難燃性による区分</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級		※12	・1級 ・2級以上	※1類 ・特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない		※12	・1級 ・2級以上	※1類 ・特類	・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	等級	厚さ (mm)		・1級 ・2級 ・3級 ・4級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級		施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分						
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用																																																																																																	
	※5.5		※1類・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない																																																																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級																																																																																															
	※12	・1級 ・2級以上	※1類 ・特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																															
	※12	・1級 ・2級以上	※1類 ・特類	・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用																																																																																																		
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない																																																																																																		
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用																																																																																																		
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用																																																																																																	
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																																																																																																	
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																	
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																	
施工箇所	等級	厚さ (mm)																																																																																																				
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																					
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																					
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																	
6 接着剤 (12.2.2)(12.2.3)	<p>接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p>																																																																																																					
7 防蟻・防蟻処理 (12.3.1)(12.3.2)	<p>防蟻・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集材</p> <p>適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr><th>適用部位</th><th>保存処理性能区分</th></tr> <tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr> <tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr><th>適用部位</th><th>処理の方法</th></tr> <tr><td></td><td>※標準仕様書12.3.1(4)(b)①~④による</td></tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理</p> <p>適用部位: ()</p> <p>8 間仕切軸組に用いる木材 (12.4.1)</p> <p>・杉又は松</p> <p>9 床組に用いる木材 (12.4.1)</p> <p>(土間スラブの土台、転ばし大引き及び転ばし根太は除く)</p> <p>・杉又は松</p> <p>10 窓、出入口、その他に用いる木材 (12.5.1)</p> <p>吊元種、水掛りの下枠及び敷居: ・ひのき 上記以外: ・松又は杉</p> <p>11 絶甲板及び上がまちに用いる木材 (12.6.1)</p> <p>・ひのき</p> <p>12 壁及び天井に用いる木材 (12.7.1)</p> <p>・杉又は松</p>	適用部位	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部位	処理の方法		※標準仕様書12.3.1(4)(b)①~④による																																																																																											
適用部位	保存処理性能区分																																																																																																					
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																					
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																					
適用部位	処理の方法																																																																																																					
	※標準仕様書12.3.1(4)(b)①~④による																																																																																																					
13 屋根及びびとい工事 (13.2.2)(13.2.3)	<p>1 長尺金属板葺 (13.2.2)(13.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>板及びコイルの種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>屋根葺形式</th><th>備考</th></tr> <tr><td></td><td>※JIS G 3322 の屋根用コイル</td><td></td><td></td><td>・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td><td></td></tr> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ ・複層葺材タイプ ・粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p> <p>雪止め ・設置する 図示 ()</p> <p>2 折板葺 (13.2.2)(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>形式</th><th>山高、山びつによる区分</th><th>耐力による区分</th><th>材料による区分</th><th>厚さ (mm)</th><th>軒先戸板</th></tr> <tr><td></td><td>・重ね形、 ・はざ締め形、 ・かん合形</td><td></td><td>() 種</td><td>※銅板製 ・アルミニウム合金板製</td><td></td><td>・有り ・無し</td></tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 (塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ()) タイトフレームに JIS G 3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合は表面処理 (標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種) 断熱材 ・有り (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p> <p>折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p> <p>3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>大きさ</th><th>産地</th><th>役物瓦の種類</th><th>雪止め瓦</th></tr> <tr><td></td><td>製法により形状による区分</td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>凍害試験 ・行う ・行わない 瓦棟木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p> <p>瓦棟木の留付け法 ※図示 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF型用瓦伏せ棟 ・のし積み棟</p> <p>4 とい (13.5.2.3)</p> <p>といの材種 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 とい受金物 とい受金物の材種、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 足金物の材種、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 多雪地域の場合の軒といの取付け間隔 ※0.5m以下 ロックウール保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>銅管製といの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書 表13.5.4による) ・適用しない</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322 の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺		施工箇所	形式	山高、山びつによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先戸板		・重ね形、 ・はざ締め形、 ・かん合形		() 種	※銅板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦		製法により形状による区分				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																															
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考																																																																																																	
	※JIS G 3322 の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																																																																																		
施工箇所	形式	山高、山びつによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先戸板																																																																																																
	・重ね形、 ・はざ締め形、 ・かん合形		() 種	※銅板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し																																																																																																
施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦																																																																																																	
	製法により形状による区分				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																																	
14 金属工事 (14.2.1)(14.2.2)(14.2.3)(14.2.4)	<p>① ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th></tr> <tr><td>※HL程度</td><td></td></tr> <tr><td>・No.2B 程度</td><td></td></tr> <tr><td>・鏡面仕上げ 程度</td><td></td></tr> </table> <p>※表面処理は標準仕様書表14.2.1による (14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>施工箇所 (成型板、笠木、建具以外)</th></tr> <tr><td>・AB-1種</td><td></td></tr> <tr><td>・AB-2種</td><td></td></tr> <tr><td>・AC-1種</td><td></td></tr> <tr><td>・AC-2種</td><td></td></tr> <tr><td>・BA-1種</td><td></td></tr> <tr><td>・BA-2種</td><td></td></tr> <tr><td>・BB-1種</td><td></td></tr> <tr><td>・BB-2種</td><td></td></tr> <tr><td>・BC-1種</td><td></td></tr> <tr><td>・BC-2種</td><td></td></tr> <tr><td>・C種</td><td></td></tr> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 色合い等 ・標準色 ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 ()</p> <p>② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr><th>表面処理方法</th><th>種類</th><th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th></tr> <tr><td>溶融亜鉛めっき</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>電気亜鉛めっき</td><td>・D種 ・E種 ・F種</td><td></td></tr> </table> <p>③ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)</p> <p>野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない</p> <p>野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 周辺部の種からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)(表14.4.1)</p> <p>○天井のふところがない場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)(7)、(4)による ・図示</p> <p>・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>・天井下地における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示</p> <p>・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示</p> <p>⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)(7)~(9)による ・図示</p> <p>6 金属成形板張り (14.6.3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面処理</th><th>取付け用下地</th><th>伸縮調整継手</th></tr> <tr><td>※図示</td><td>※図示</td><td>・図示 ・標準仕様書14.4による</td><td>・図示 (施工箇所) ・図示 ・図示</td></tr> </table> <p>7 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(14.7.3)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面処理</th></tr> <tr><td>・250形 ・300形 ・350形</td><td>種別 () 種 色合等 ・標準色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色</td></tr> </table> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p> <p>8 手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)</p> <table border="1"> <tr><th>手すりの種別</th><th>タラップの種別</th></tr> <tr><td>・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・HL程度) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種)</td><td>・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種)</td></tr> </table>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	※HL程度		・No.2B 程度		・鏡面仕上げ 程度		種類	施工箇所 (成型板、笠木、建具以外)	・AB-1種		・AB-2種		・AC-1種		・AC-2種		・BA-1種		・BA-2種		・BB-1種		・BB-2種		・BC-1種		・BC-2種		・C種		表面処理方法	種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種		電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種		種類	表面処理	取付け用下地	伸縮調整継手	※図示	※図示	・図示 ・標準仕様書14.4による	・図示 (施工箇所) ・図示 ・図示	種類	表面処理	・250形 ・300形 ・350形	種別 () 種 色合等 ・標準色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色	手すりの種別	タラップの種別	・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・HL程度) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種)	・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種)																																												
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																																																																																					
※HL程度																																																																																																						
・No.2B 程度																																																																																																						
・鏡面仕上げ 程度																																																																																																						
種類	施工箇所 (成型板、笠木、建具以外)																																																																																																					
・AB-1種																																																																																																						
・AB-2種																																																																																																						
・AC-1種																																																																																																						
・AC-2種																																																																																																						
・BA-1種																																																																																																						
・BA-2種																																																																																																						
・BB-1種																																																																																																						
・BB-2種																																																																																																						
・BC-1種																																																																																																						
・BC-2種																																																																																																						
・C種																																																																																																						
表面処理方法	種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																				
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種																																																																																																					
電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																																																																																																					
種類	表面処理	取付け用下地	伸縮調整継手																																																																																																			
※図示	※図示	・図示 ・標準仕様書14.4による	・図示 (施工箇所) ・図示 ・図示																																																																																																			
種類	表面処理																																																																																																					
・250形 ・300形 ・350形	種別 () 種 色合等 ・標準色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色																																																																																																					
手すりの種別	タラップの種別																																																																																																					
・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・HL程度) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種)	・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種)																																																																																																					

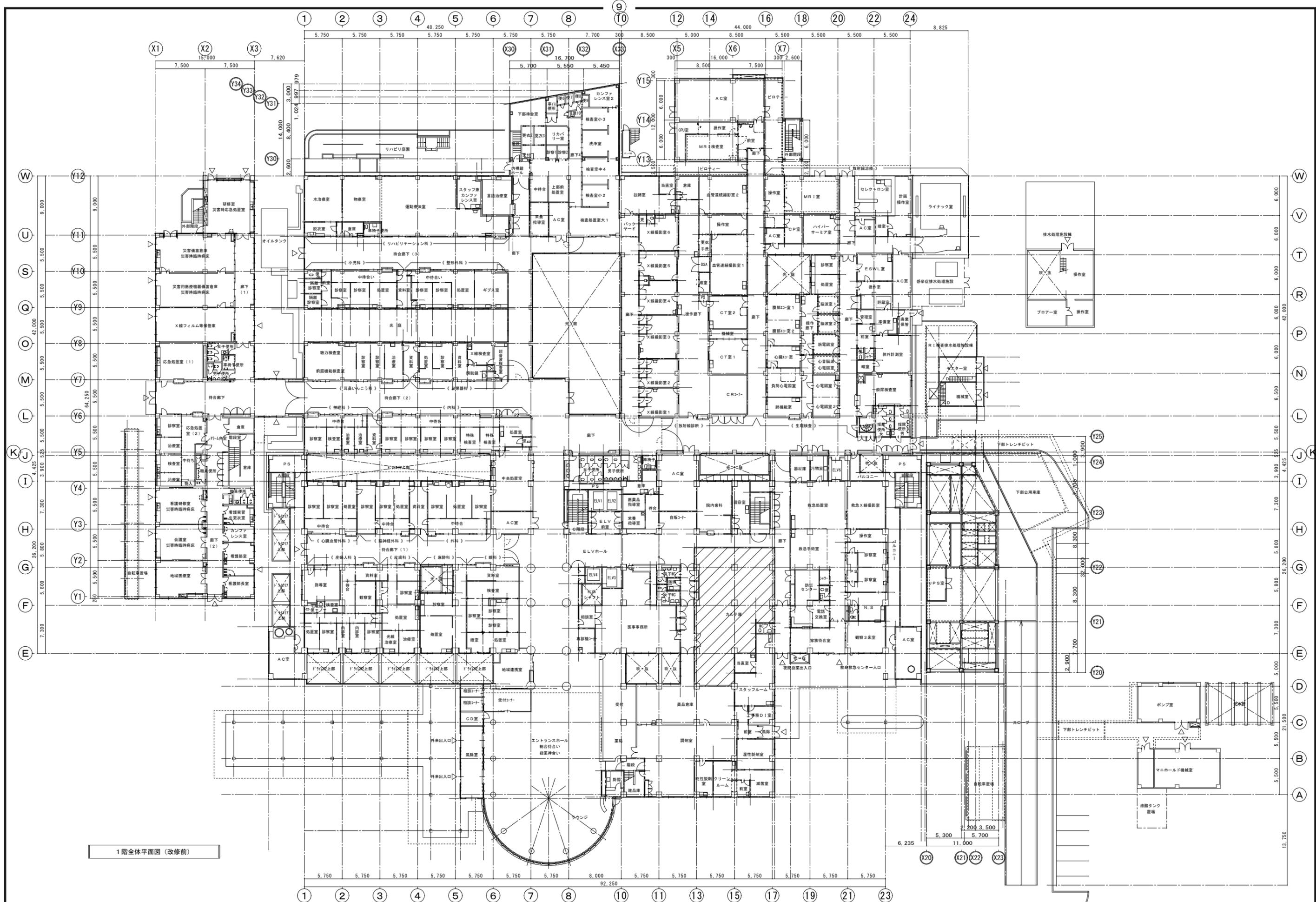
17 カーテンウォール 工事	1 取付方法、性能等	(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)																																		
	取付方法 ・層間方式 ・柱、梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式																																			
	性能 <table border="1"> <tr> <th colspan="7">耐震性能</th> </tr> <tr> <td>水平方向 (H)</td> <td>垂直方向 (V)</td> <td>水密性</td> <td>気密性</td> <td>遮音性</td> <td>断熱性</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>・1.0</td> <td>・0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・30分 ・70 ・1時間 ・60</td> </tr> <tr> <td colspan="7">耐温度差性能 (°C)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">・30分 ・70 ・60</td> </tr> </table>	耐震性能							水平方向 (H)	垂直方向 (V)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	・1.0	・0.5					・30分 ・70 ・1時間 ・60	耐温度差性能 (°C)							・30分 ・70 ・60						
耐震性能																																				
水平方向 (H)	垂直方向 (V)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能																														
・1.0	・0.5					・30分 ・70 ・1時間 ・60																														
耐温度差性能 (°C)																																				
・30分 ・70 ・60																																				
2 メタルカーテンウォール	耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない																																			
	主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能																																			
	4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 4mを超える ・																																			
3 PCカーテンウォール	層間変位追従性 建築物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態																																			
	鉄骨造 ・±(1/200)×h以上 鉄筋コンクリート造 ・±(1/300)×h以上 鉄骨鉄筋コンクリート造 ・																																			
	シーリング材 下表以外は標準仕様書9.7.1による																																			
4 断熱材	接着体の組合せ 記号 シーリング材の種類 主成分による区分																																			
	ガラスの取付け 構造ガセット ・適用する (施工箇所 ・図示 ・) 材質 ・クロロレン系 ・EPDM系 ・シリコン系 形状 ・H型 ・Y型 ・C型 寸法 (mm) ガラス板厚 () ・支持枠の厚さ () ・ウェブの寸法 () ・適用しない																																			
	断熱材 () 種類 () 厚さ (mm) () 施工箇所 ・図示 ・																																			
5 内装工事	性能の確認方法及び判定方法 ・行う ・行わない (資料による承諾)																																			
	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 映像調整 ・行う ・行わない	(17.2.2)(17.2.3)(17.2.5)																																		
	形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 垂直方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の芯の通り ※+2mm 目地両側の段差 ※+2mm 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±3mm	(17.3.2)~(17.3.5)																																		
6 ゴム床タイル	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度 (F _c) ※30N/mm ² スランプ ※12cm 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m ³ を超え2.5t/m ³ 以下 単位水量の最大値 ※185kg/m ³ 鉄筋 種類記号 ※SD295A 補強鉄線 径 (mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 先付けの材料 ・表面仕上材 ・セラミックタイル ・石材 (・花こう岩 ・大理石) ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール	(17.3.1)(表17.3.2)																																		

18 塗装工事	①材料 (18.1.3)	形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.3による ・上記以外 辺長 (mm) 対角線長の差 (mm) 板厚 (mm) 開口部内法寸法 (mm) ねじれ、そり (mm) 曲がり (mm) 面の凹凸 (mm) 先付け金物の位置 (mm) カーテンウォールの仕上げ 構造ガセットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) 取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.2による																																
	②素地ごしらえ (18.2.2~7)(表18.2.1~7)	屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)																																
	③錆止め塗料塗り (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~4)	<table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>工程の種類</th> <th>塗料の種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>見え掛り部分 ※A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種</td> <td>下記以外の場合 ※A種 ・B種 EP-Gの場合 ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※B種 ・A種</td> <td>下記以外の場合 ※A種 ・B種 ・C種 EP-Gの場合 ・B種 ・A種 ・C種 ・C種 ・A種 ・B種</td> </tr> </table>	下地面等	工程の種類	塗料の種類	鉄鋼面	見え掛り部分 ※A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種	下記以外の場合 ※A種 ・B種 EP-Gの場合 ・A種 ・B種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※B種 ・A種	下記以外の場合 ※A種 ・B種 ・C種 EP-Gの場合 ・B種 ・A種 ・C種 ・C種 ・A種 ・B種																							
下地面等	工程の種類	塗料の種類																																
鉄鋼面	見え掛り部分 ※A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種	下記以外の場合 ※A種 ・B種 EP-Gの場合 ・A種 ・B種																																
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※B種 ・A種	下記以外の場合 ※A種 ・B種 ・C種 EP-Gの場合 ・B種 ・A種 ・C種 ・C種 ・A種 ・B種																																
19 内装工事	①接着剤 (19.2.2)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ・図示																																
	②ビニル床シート (19.2.2)(19.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ○マーブル柄 ○柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 ・</td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ○マーブル柄 ○柄物	※2.0		目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 ・																							
	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																														
※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ○マーブル柄 ○柄物	※2.0																																
目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 ・																																		
③ビニル床タイル (19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT (コンポジションビニル床タイル)</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・500×500</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置き敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0		・TT (単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5		・FT (複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0		・FOA (置き敷きビニル床タイル)					・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)							
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																														
※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0																															
・TT (単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5																															
・FT (複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0																															
・FOA (置き敷きビニル床タイル)																																		
・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)																																		
20 畳敷き	④特殊機能床 (19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>シート種別</th> <th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th> <th>性能</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>・帯電防止床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・帯電防止床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐動荷重性床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防汚性床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防汚性床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル床クッション</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	シート種別	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類	・帯電防止床シート				・帯電防止床タイル				・視覚障害者用床タイル				・耐動荷重性床シート				・防汚性床シート				・防汚性床タイル				・ビニル床クッション			
	シート種別	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類																														
	・帯電防止床シート																																	
・帯電防止床タイル																																		
・視覚障害者用床タイル																																		
・耐動荷重性床シート																																		
・防汚性床シート																																		
・防汚性床タイル																																		
・ビニル床クッション																																		
⑤ビニル幅木 (19.2.2)	材質 ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・70 ・100 厚さ (mm) ※1.5以上																																	
⑥ゴム床タイル (19.2.2)	種類 () 色柄 () 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) ()																																	

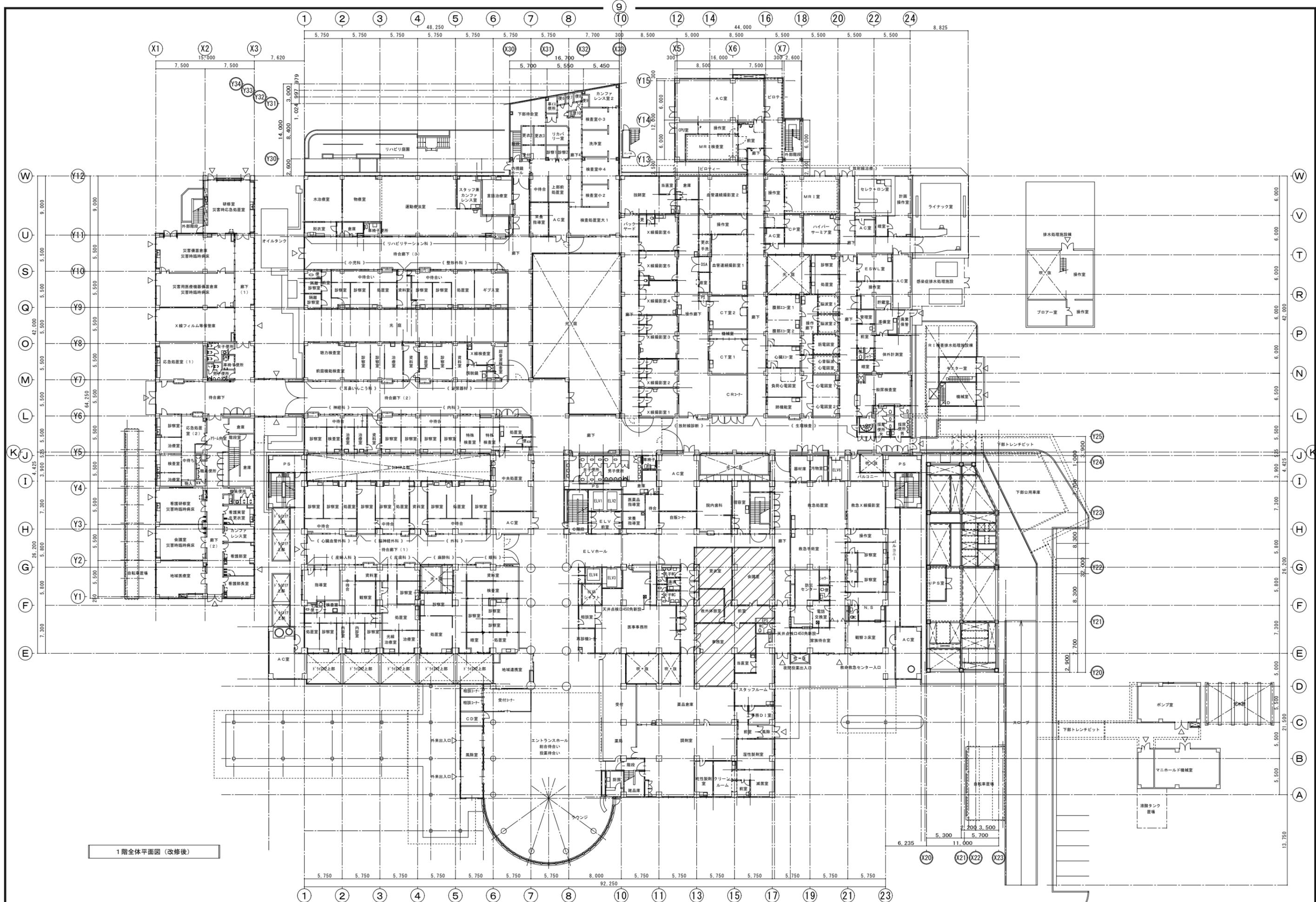
7 カーペット敷き	⑦カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・カットバイル</td> <td>・タフト織</td> <td>・無地</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・ループバイル</td> <td>・タフト織</td> <td>・柄物</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・タフト織</td> <td>(標準品)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm 織りゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td></td> <td></td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td></td> <td></td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レペループバイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ・適用する ・適用しない 備考 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示) ・適用しない</p>	種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カットバイル	・タフト織	・無地	・適用する		・B種	・ループバイル	・タフト織	・柄物	・適用しない		・C種	・カット、ループ併用	・タフト織	(標準品)			種別	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル			※全面接着工法	・適用する		・ループバイル			・グリッパー工法	・適用しない		・レペループバイル						・カット、ループ併用						バイル形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
	種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考																																																																										
	・A種	・カットバイル	・タフト織	・無地	・適用する																																																																											
・B種	・ループバイル	・タフト織	・柄物	・適用しない																																																																												
・C種	・カット、ループ併用	・タフト織	(標準品)																																																																													
種別	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																											
・カットバイル			※全面接着工法	・適用する																																																																												
・ループバイル			・グリッパー工法	・適用しない																																																																												
・レペループバイル																																																																																
・カット、ループ併用																																																																																
バイル形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																											
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																												
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																												
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																												
7 合成樹脂塗料 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~8)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗料 (弾性かめ樹脂系塗料)</td> <td></td> <td>・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モル工法</td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗料 (エポキシ樹脂塗料)</td> <td></td> <td></td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗料</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・799樹脂塗料 (JIS K 5970) (防塵塗料)</td> <td></td> <td></td> <td>工 塗布量 (kg/m²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色</td> </tr> </table>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗料 (弾性かめ樹脂系塗料)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モル工法	※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗料 (エポキシ樹脂塗料)			・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗料			※平滑仕上げ	・799樹脂塗料 (JIS K 5970) (防塵塗料)			工 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色																																																											
種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																													
・厚膜型塗料 (弾性かめ樹脂系塗料)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モル工法	※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																													
・厚膜型塗料 (エポキシ樹脂塗料)			・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																													
・薄膜型塗料			※平滑仕上げ																																																																													
・799樹脂塗料 (JIS K 5970) (防塵塗料)			工 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色																																																																													
8 フローリング張り (19.5.2~6)(表19.5.1~5)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ及び大きさ</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>※標準仕様書19.5.1による ・ ※標準仕様書19.5.1による ・</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>※標準仕様書19.5.1による ・</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>複合フローリング () <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>※天然木化粧</td> <td>・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない</p> </p>	種類	工法	樹種	厚さ及び大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・	※標準仕様書19.5.1による ・ ※標準仕様書19.5.1による ・	・塗装品 ・無塗装品	・	・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら ・	※標準仕様書19.5.1による ・	・塗装品 ・無塗装品	・	種類	工法	樹種	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用	※天然木化粧	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・	・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・																																															
種類	工法	樹種	厚さ及び大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																											
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・	※標準仕様書19.5.1による ・ ※標準仕様書19.5.1による ・	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																											
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら ・	※標準仕様書19.5.1による ・	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																											
種類	工法	樹種	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																										
※天然木化粧	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・	・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																										
9 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム ()) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステリンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。																																																																															

10 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)	⑩せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板 ()</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 ()</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 ()</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 ()</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板 ()</td> <td>NF</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・けい酸セメント板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>4172 (無石綿)</td> <td>・6 ・8</td> </tr> </table> <p>○ロック化化粧板 DR ○70×70 (・9 (不燃) ○12 (不燃)) ・凹凸917 (・12 (不燃) ・15 (不燃))</p> <p>・ロック化吸音ボード1号 RW-B ・25 ・ガラス繊維吸音ボード32K GW-B ・25 (ガラス繊維) ・せっこうボード GB-R ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・不燃層質せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (15mm×15mm)</p> <p>・セグメントせっこうボード GB-S 12.5 (不燃) ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・21 (不燃) ・普通硬質せっこうボード GB-RH ・9.5 (不燃) ・せっこうボード GB-L 9.5 ・化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り 9.5 (不燃)</p> <p>○化粧せっこうボード (15mm×15mm) GB-D 9.5 (不燃)</p> <p>・普通合板 () 表面の材種 生地、透明塗料塗り (※7分程度) 不透透明塗料塗り (※1分程度) 板面の品質 (1等) 厚さ (mm) (12.0) 接着の程度 (2類) ・防虫処理</p> <p>・天然木化粧合板 () 樹種名 () 接着の程度 (1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理</p> <p>・特殊加工化粧合板 () 化粧加工の方法 (オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理</p> <p>・パイン樹脂化粧板 ・ホド樹脂化粧板 ・MDF ・ハードボード (素地) () HB ・研磨板 (・30mm×30mm) ・ハードボード (化粧) () IB ・インシュレーションボード () IB A級 (・天井仕上) 内装仕上 () ・9 ・12 ・15 ・18</p> <p>せっこうボード等の下地 ※図示 遮音シール材 ○適用する (○シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) 合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による</p>	種類	JIS記号	厚さ (mm)	規格等	・硬質木毛セメント板 ()	HW	・15 ・20 ・25		・中質木毛セメント板 ()	MW	・15 ・20 ・25		・普通木毛セメント板 ()	NW	・15 ・20 ・25		・硬質木片セメント板 ()	HF	・12 ・15 ・18 ・21		・普通木片セメント板 ()	NF	・30		・けい酸セメント板	0.8FK 1.0FK	4172 (無石綿)	・6 ・8																
	種類	JIS記号	厚さ (mm)	規格等																																										
	・硬質木毛セメント板 ()	HW	・15 ・20 ・25																																											
・中質木毛セメント板 ()	MW	・15 ・20 ・25																																												
・普通木毛セメント板 ()	NW	・15 ・20 ・25																																												
・硬質木片セメント板 ()	HF	・12 ・15 ・18 ・21																																												
・普通木片セメント板 ()	NF	・30																																												
・けい酸セメント板	0.8FK 1.0FK	4172 (無石綿)	・6 ・8																																											
11 壁紙張り (19.5.2)(19.5.3)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火種別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>織維</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及び石膏スター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4) コンクリート及びALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5) せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考	紙	織維	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃			・	・	・	・	・				・	・	・	・	・				・	・	・	・	・		
施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考																																							
	紙	織維	プラスチック	無機質	その他																																									
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																								
	・	・	・	・	・																																									
	・	・	・	・	・																																									
	・	・	・	・	・																																									
12 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>・断熱材打込み工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ピーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種I又はA種IH 厚さ (mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示</p>	施工箇所	種類	厚さ (mm)	施工箇所		・断熱材打込み工法				・ピーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)				・硬質ウレタンフォーム断熱材				・フェノールフォーム断熱材																							
施工箇所	種類					厚さ (mm)	施工箇所																																							
・断熱材打込み工法																																														
・ピーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																														
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)																																														
・硬質ウレタンフォーム断熱材																																														
・フェノールフォーム断熱材																																														

ユニット及びその他の工事	20	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000N ・5,000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (イ)による</p> <p>帯電防止性能 ・U値 (クラス1) ・U値 (クラス2) 漏えい抵抗 ・$R \geq 1 \times 10^8 \Omega$</p> <p>表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製(仕上げ:) スロープ及びびりボーダー ・製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント</p> <p>配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・図示</p> <p>空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり(形式、施工箇所:図示)</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td>・黒板 ※焼付け</td> <td></td> <td>・黒</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td></td> <td>・</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	色	形式	・黒板 ※焼付け		・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け	・ホワイトボード		・	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面	19 耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向 ・水平方向</td> <td>・完全(全貫通型) ・</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td>・幅20×深さ10</td> <td>・幅20×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書9.7.2による</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10	33 防煙垂れ壁	<p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス</td> <td>・※6.8</td> <td>・※500</td> <td>・アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>・※不燃布(不燃認定品)</td> <td>・※500 ・800</td> <td>・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>・鋼板製又はアルミ製</td> <td>・※500 ・800</td> <td>・表面仕上げ ・※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込み型)</p>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス	・※6.8	・※500	・アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	・※不燃布(不燃認定品)	・※500 ・800	・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	・鋼板製又はアルミ製	・※500 ・800	・表面仕上げ ・※天井材張り																																						
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考																																																																																																										
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																																											
	種類	寸法(mm)	色	形式																																																																																																														
	・黒板 ※焼付け		・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け																																																																																																														
	・ホワイトボード		・	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面																																																																																																														
	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																													
	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																														
	目地	内壁	外壁																																																																																																															
	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)																																																																																																															
目地寸法(mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10																																																																																																																
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																																																															
・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス	・※6.8	・※500	・アルミ製枠付き																																																																																																															
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																																																															
・垂直降下式(巻取り型)	・※不燃布(不燃認定品)	・※500 ・800	・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)																																																																																																															
・回転降下式	・鋼板製又はアルミ製	・※500 ・800	・表面仕上げ ・※天井材張り																																																																																																															
	2	2 可動間仕切 (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>遮音性能(dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スタッド ・パネル</td> <td>・</td> <td>・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)</p>	構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・	・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	9 鏡 (20.2.9)	<p>取付箇所 () 寸法(mm) ・図示 厚さ(mm) ※5</p>	20 止水板	形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示	34 収納家具 (12.2.2)(19.7.2)	材質形状・寸法 ※図示 合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)																																																																																													
構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能																																																																																																													
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・	・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																													
	3	3 移動間仕切 (20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法</th> <th>圧縮装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・図示 ハンガーレール ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・図示 ランナー ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・</p>	走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	10 表示 (20.2.10)	<p>・衝突防止表示 形状、寸法 (・30φ) 材質 (・ステンレス製)</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 色、書体、印刷等の種別、取付け形状等は図示による。 その他の表示 ※図示</p>	21 エキスパンションジョイント金物	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー</td> <td>・50 ・100 ・150 ・250</td> <td>・有り() ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p>	材質	クリアランス	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー	・50 ・100 ・150 ・250	・有り() ・無し		35 屋外掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し																																																																																					
走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)																																																																																																													
・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																													
材質	クリアランス	耐火性能	備考																																																																																																															
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー	・50 ・100 ・150 ・250	・有り() ・無し																																																																																																																
	4	4 トイレブース (20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジ材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・※幅木タイプ</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)</p>	表面材の材質	脚部形状	ドアエッジ材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・※幅木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様	11 煙突ライニング (20.2.11)	<p>煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃ キャスト耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする</p>	22 くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製	・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金		36 敷地境界石標	種類 ※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り)																																																																																													
表面材の材質	脚部形状	ドアエッジ材質																																																																																																																
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・※幅木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様																																																																																																																
材質	受け枠	備考																																																																																																																
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製	・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																	
	5	5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>・300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ブロックパターンは JIS T 9251 による</p>	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)	・300×300	・	屋外	・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り	・300×300	・	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	12 ブラインド (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>寸法・取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型 ・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>・※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・※アルミニウム合金製 ・</td> <td>・※25</td> <td>・※鋼製 ・</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・手動 ・電動</td> <td>・※2本操作コード ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・</td> <td>・※アルミニウム合金製 ・</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </table> <p>アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ()</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所	・横型 ・縦型	・手動 ・電動	・※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・※アルミニウム合金製 ・	・※25	・※鋼製 ・	・図示 ・	・手動 ・電動	・※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・	・※アルミニウム合金製 ・	・図示 ・	23 流し台ユニット (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ポリエステル ・図示による</td> <td>・W 200 ・1500 ・1800 ・D 550 ・600 ・650 ・H 800 ・850</td> <td>・市販品 ・トラップ付き ・天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600 ・550 ・600 ・650 ・620 ・670</td> <td>・市販品 ・バックガード有り ・天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900 ・600 ・450 ・500 ・700</td> <td>・市販品 ・ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示(寸法も図示による)</p>	材質	寸法(mm)	備考	・ポリエステル ・図示による	・W 200 ・1500 ・1800 ・D 550 ・600 ・650 ・H 800 ・850	・市販品 ・トラップ付き ・天板ステンレス製	・コンロ台	・600 ・550 ・600 ・650 ・620 ・670	・市販品 ・バックガード有り ・天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200 ・900 ・600 ・450 ・500 ・700	・市販品 ・ステンレス製 ・1段式	24 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製 ・</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式		25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製(SUS 304)	26 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵型 ・</td> <td>・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示	28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)	<p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷量による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷量による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り	32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 奥行き(mm) ・約450 ・約600
施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																															
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0																																																																																																															
	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)	・300×300	・																																																																																																															
屋外	・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り	・300×300	・																																																																																																															
	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・																																																																																																															
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所																																																																																																												
・横型 ・縦型	・手動 ・電動	・※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・※アルミニウム合金製 ・	・※25	・※鋼製 ・	・図示 ・																																																																																																												
・手動 ・電動	・※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・	・※アルミニウム合金製 ・	・図示 ・																																																																																																												
材質	寸法(mm)	備考																																																																																																																
・ポリエステル ・図示による	・W 200 ・1500 ・1800 ・D 550 ・600 ・650 ・H 800 ・850	・市販品 ・トラップ付き ・天板ステンレス製																																																																																																																
・コンロ台	・600 ・550 ・600 ・650 ・620 ・670	・市販品 ・バックガード有り ・天板ステンレス製																																																																																																																
・つり戸棚	・1200 ・900 ・600 ・450 ・500 ・700	・市販品 ・ステンレス製 ・1段式																																																																																																																
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																													
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																														
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																															
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・																																																																																																															
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																															
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・																																																																																																															
・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・																																																																																																															
種類	規格等	耐荷量による種類																																																																																																																
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																
	6	6 階段滑り止め (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り</td> <td>・約35</td> <td>・※接着工法 ・埋込み工法</td> <td>・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし</td> </tr> </table>	材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	・※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし	13 ロールスクリーン (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ポリエステル ・図示による</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・図示</td> <td>・図示</td> <td>・待合ホール</td> <td></td> </tr> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による</p>	材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ポリエステル ・図示による	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・図示	・図示	・待合ホール		24 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>(暗幕)</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示		25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製(SUS 304)	26 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵型 ・</td> <td>・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示	28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)	<p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷量による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷量による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り	32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 奥行き(mm) ・約450 ・約600																																	
材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																																																																																															
・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	・※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし																																																																																																															
材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考																																																																																																													
・ポリエステル ・図示による	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・図示	・図示	・待合ホール																																																																																																														
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																													
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示																																																																																																														
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																															
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・																																																																																																															
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																															
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・																																																																																																															
・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・																																																																																																															
種類	規格等	耐荷量による種類																																																																																																																
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																
	7	7 手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※集成材</td> <td>・クリヤラッカー</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL</td> <td>・34</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EP-G ・SOP</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td>・34</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	※集成材	・クリヤラッカー	・35 ・45			・ステンレスパイプ	・HL	・34			・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP				・ビニル製ハンドレール		・34			14 カーテン (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については () とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示		24 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製 ・</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式		25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製(SUS 304)	26 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵型 ・</td> <td>・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示	28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)	<p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷量による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷量による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り	32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 奥行き(mm) ・約450 ・約600																
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																														
※集成材	・クリヤラッカー	・35 ・45																																																																																																																
・ステンレスパイプ	・HL	・34																																																																																																																
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP																																																																																																																	
・ビニル製ハンドレール		・34																																																																																																																
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																													
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示																																																																																																														
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																													
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																														
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																															
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・																																																																																																															
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																															
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・																																																																																																															
・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・																																																																																																															
種類	規格等	耐荷量による種類																																																																																																																
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																
	8	8 階段滑り止め (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り</td> <td>・約35</td> <td>・※接着工法 ・埋込み工法</td> <td>・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし</td> </tr> </table>	材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	・※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし	15 カーテンレール (20.2.14)	<p>材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>	24 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製 ・</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式		25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製(SUS 304)	26 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵型 ・</td> <td>・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示	28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)	<p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷量による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷量による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り	32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 奥行き(mm) ・約450 ・約600																																													
材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																																																																																															
・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	・※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし																																																																																																															
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																													
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																														
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																															
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式	・	・																																																																																																															
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																															
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・																																																																																																															
・コンクリート間知ブロック	・	・A ・B	・																																																																																																															
種類	規格等	耐荷量による種類																																																																																																																
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																



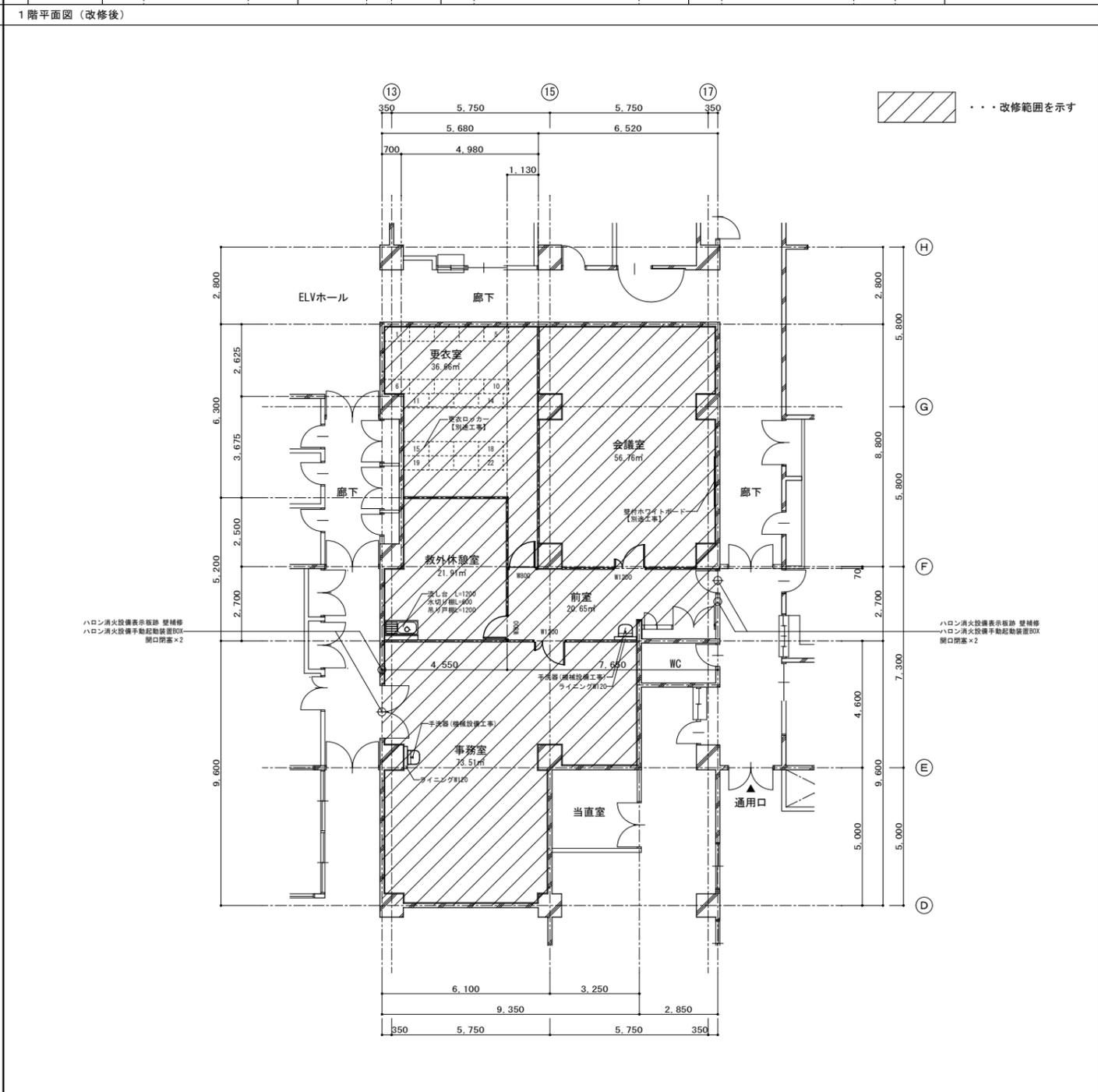
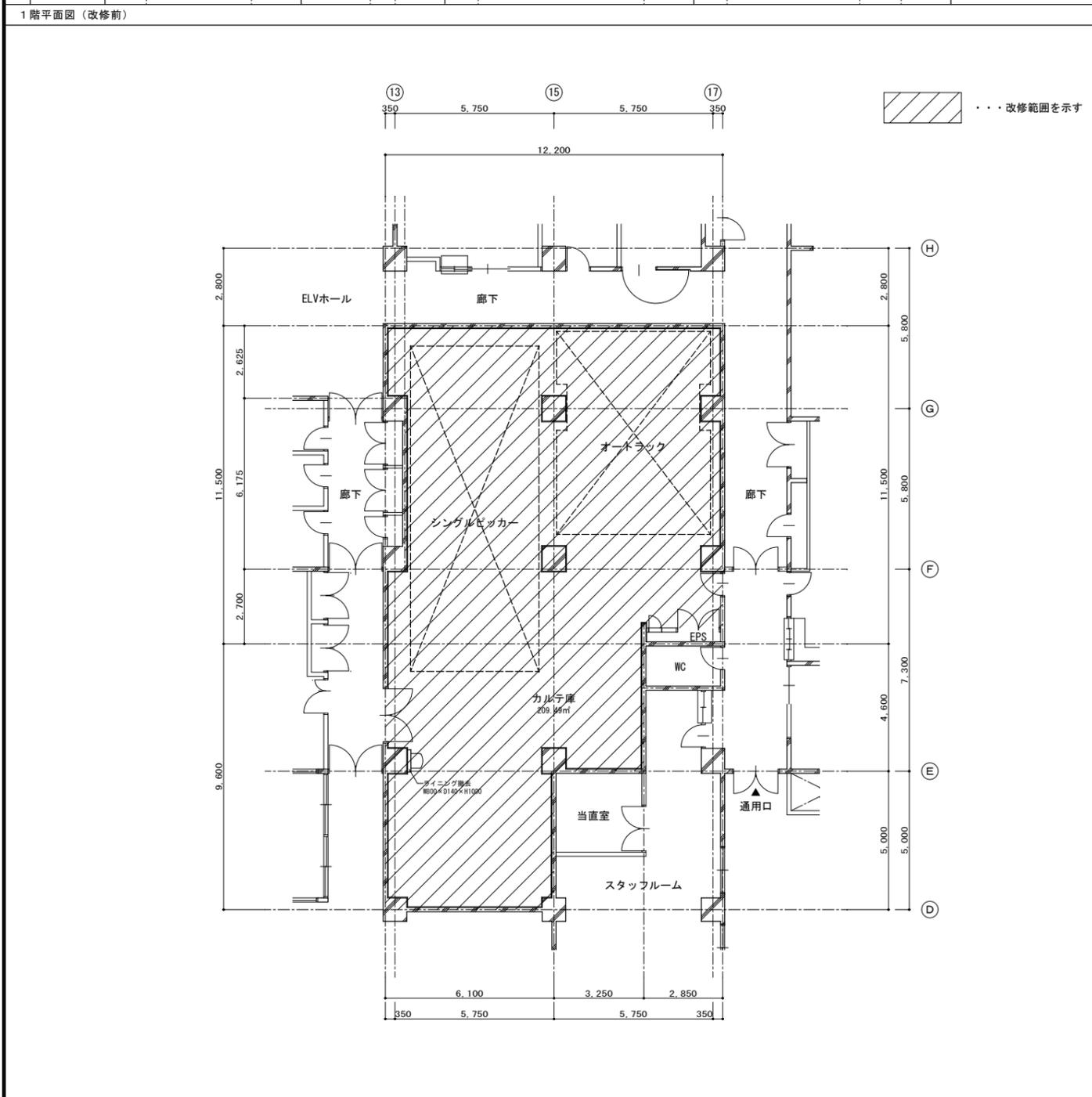
1階全体平面図 (改修前)



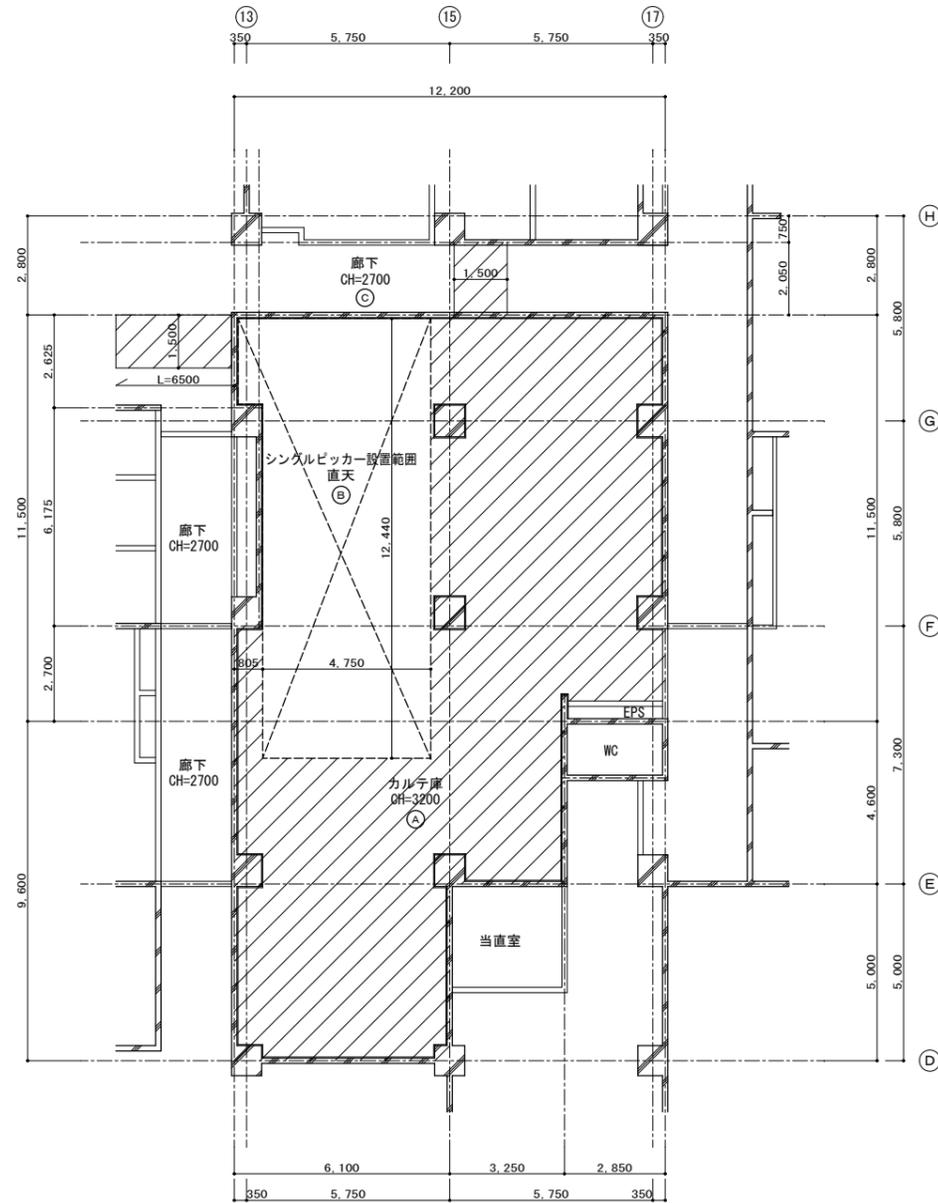
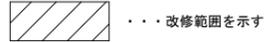
1階全体平面図 (改修後)

仕上表 (改修前)												
階	室名	床	区分	巾木	H	区分	下地	壁	区分	天井	備考	
1階	カルテ庫	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【仕上撤去】	ビニル巾木	60	【撤去】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【塗膜除去】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	3.200 【撤去】 (LGS下地共)	オートラック【撤去】 シングルピッカー【撤去】 ライニング【撤去】
		RC ±0 +30 -15	オートラック設置範囲 ビニル床シートt2.0 六ニヤ敷t15+15 (モルタル金ゴテ下地)	【仕上撤去】				シングルピッカー設置範囲 RC直仕上				
	廊下	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS 岩綿吸音板t12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)	2.700	【部分撤去】
81階	厨房	RC ±0 -300	エポキシ樹脂床材 (軽量RC H300下地)	【既存のまま】	サニタリタイル		【既存のまま】	RC 磁器質タイル100角貼り	【既存のまま】	LGS ケイ酸カルシウム板t6 VP	2.700	【部分撤去】
	厨房事務室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【部分撤去】

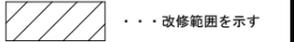
仕上表 (改修後)												
階	室名	床	区分	巾木	H	区分	下地	壁	区分	天井	備考	
1階	事務室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	教外休憩室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	更衣室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	会議室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	前室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	廊下	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS 岩綿吸音板t12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)	2.700	【部分復旧】
81階	厨房	RC ±0 -300	エポキシ樹脂床材 (軽量RC H300下地)	【既存のまま】	サニタリタイル		【既存のまま】	RC 磁器質タイル100角貼り	【既存のまま】	LGS ケイ酸カルシウム板t6 EP	2.700	【部分復旧】
	厨房事務室	RC ±0 -15	ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC 石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS 化粧石膏ボードt9.5	2.700	【部分復旧】



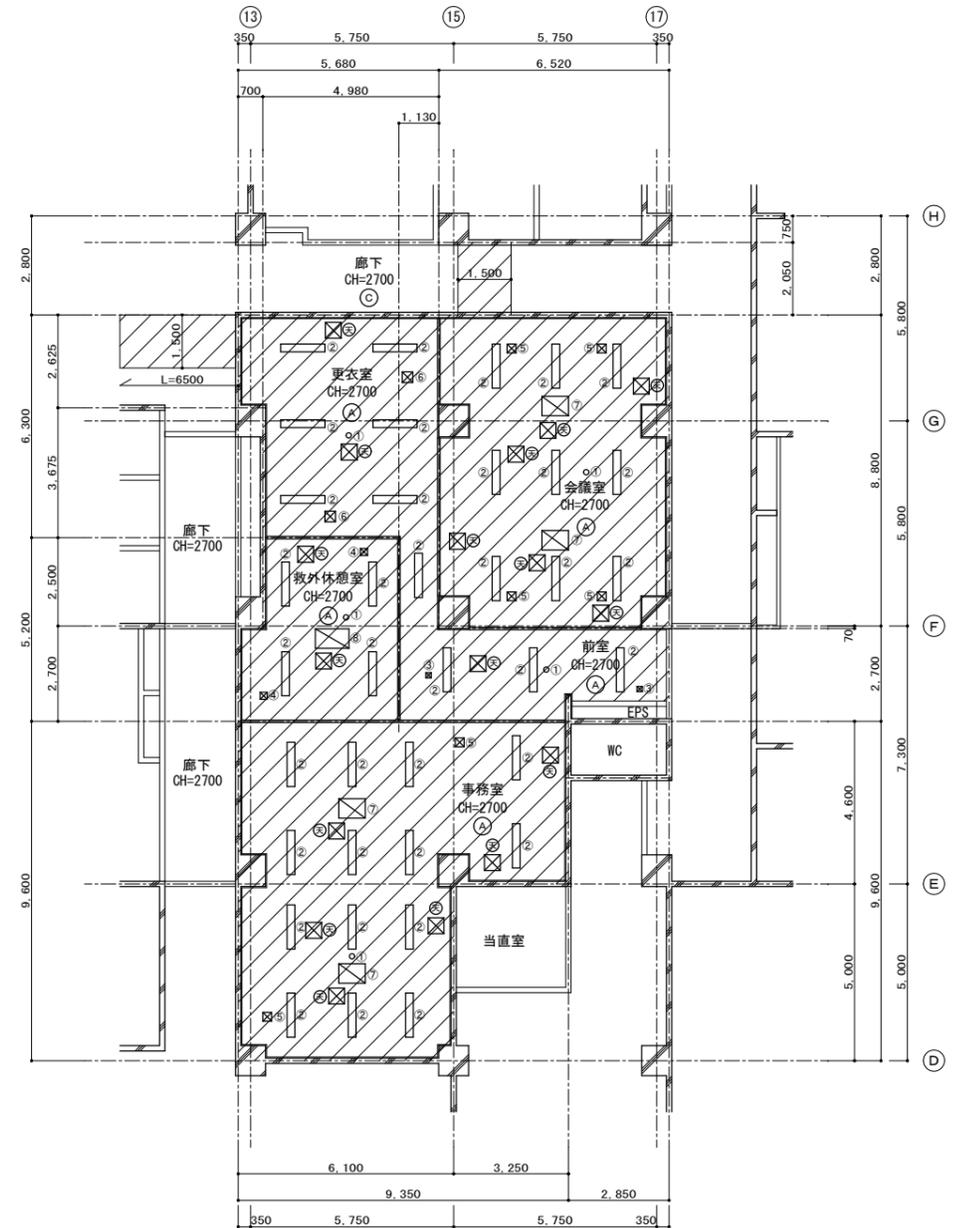
Ⓐ	化粧石膏ボード
Ⓑ	RC直天井
Ⓒ	岩綿吸音板T12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)



Ⓐ	化粧石膏ボードt9.5
Ⓑ	RC直天井
Ⓒ	岩綿吸音板T12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)



注記
1. 特記なき限り、壁との取合部には、塩ビ製継縁(突付)を設ける。



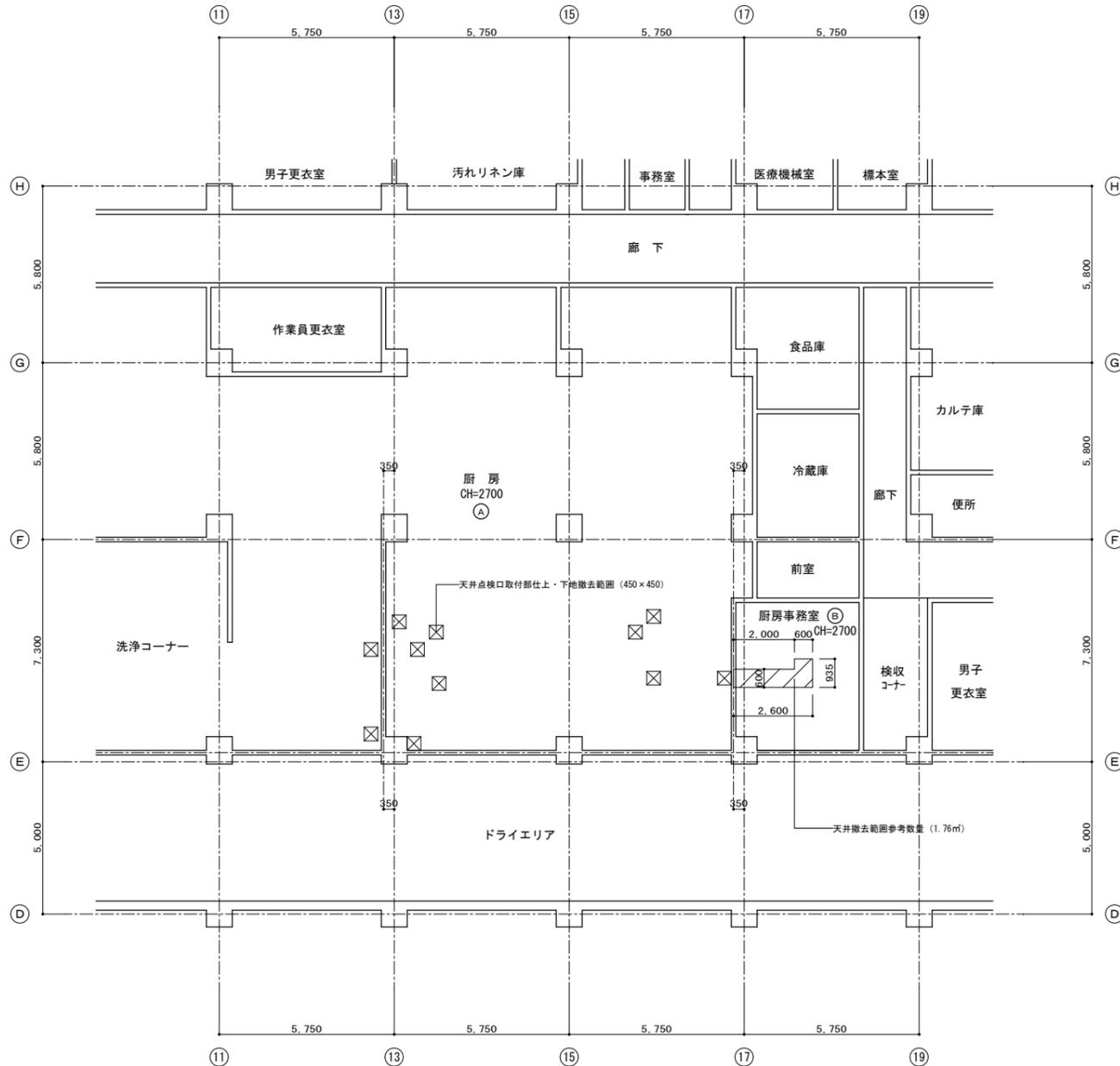
※天井点検口は1階医事事務所及び電話交換機室へ各1か所合計2か所を設置する
設置位置についてはA-12図を参照して下さい。

天井点検口リスト				天井開口補強リスト		
記号	形状・寸法	数量	備考	記号	形状・寸法	数量
Ⓒ	450 × 450	19	アルミ継縁タイプ	①	φ150	5
				②	1,250 × 220	37
				③	150 × 150	2
				④	200 × 200	2
				⑤	250 × 250	6
				⑥	300 × 300	2
				⑦	790 × 550	4
				⑧	950 × 550	1

地下1階天井伏図（改修前）

天井伏図符号凡例	
(A)	ケイ酸カルシウム板16 VP塗装
(B)	化粧石膏ボード

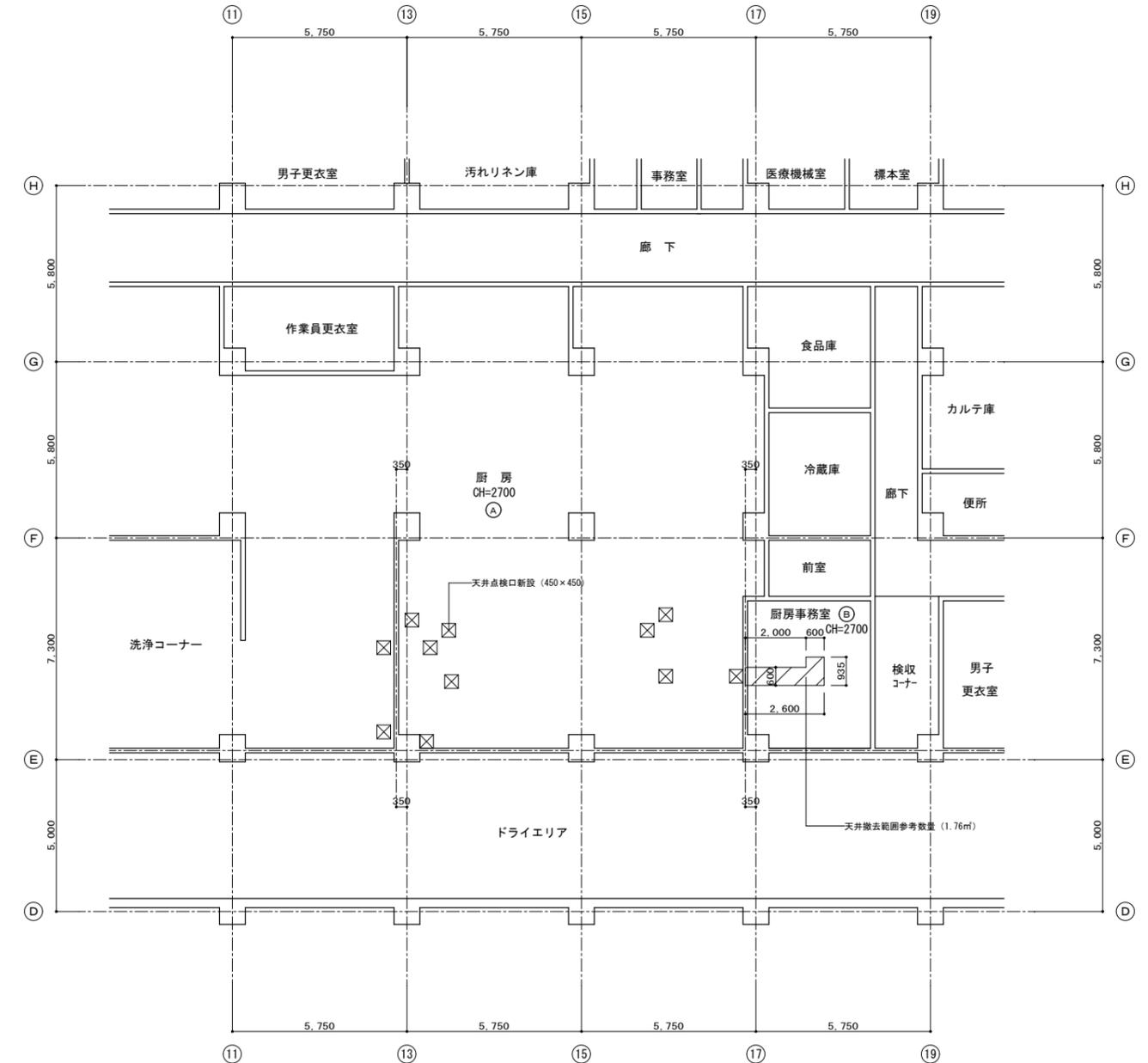
 ... 改修範囲を示す



地下1階天井伏図（改修後）

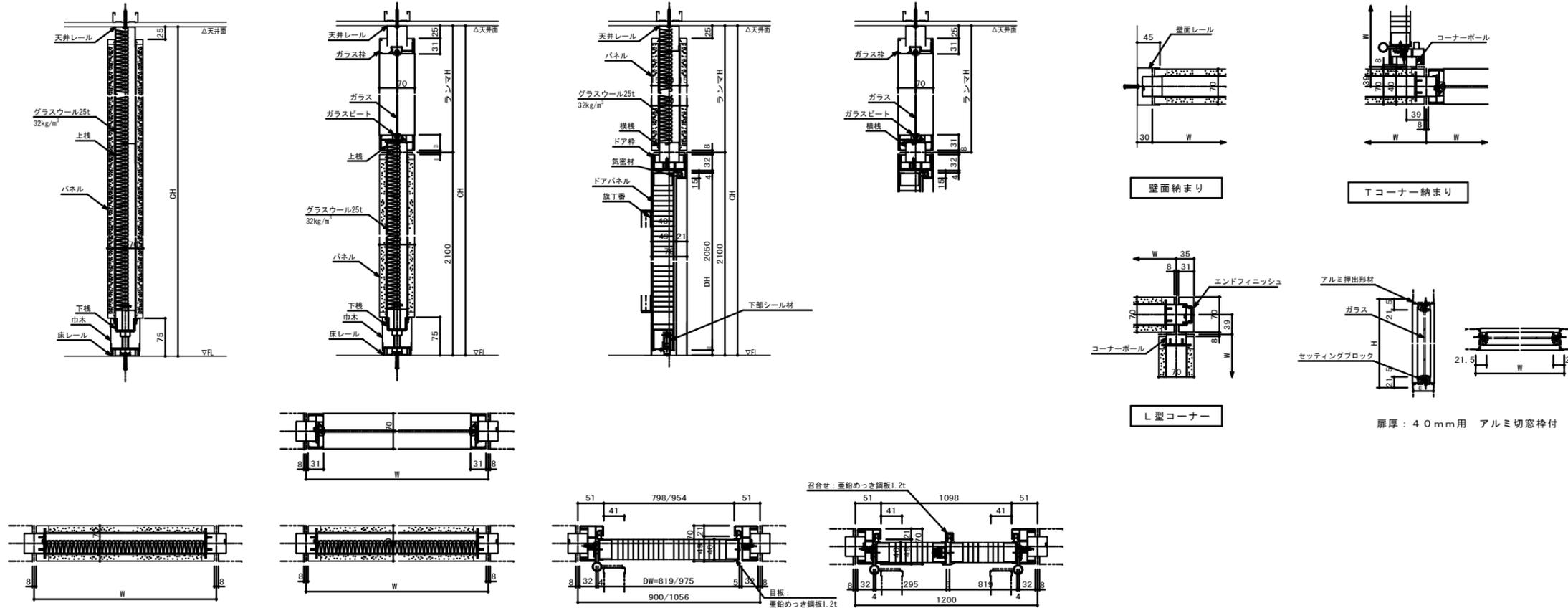
天井伏図符号凡例	
(A)	ケイ酸カルシウム板16 VP塗装
(B)	化粧石膏ボード t:9.5

 ... 改修範囲を示す



注記
1. 特記なき限り、壁との取合部には、塩ビ製廻縁（突付）を設ける。

天井点検口リスト			
形状・寸法	数量	備	考
 450 × 450	11	アルミ額縁タイプ	



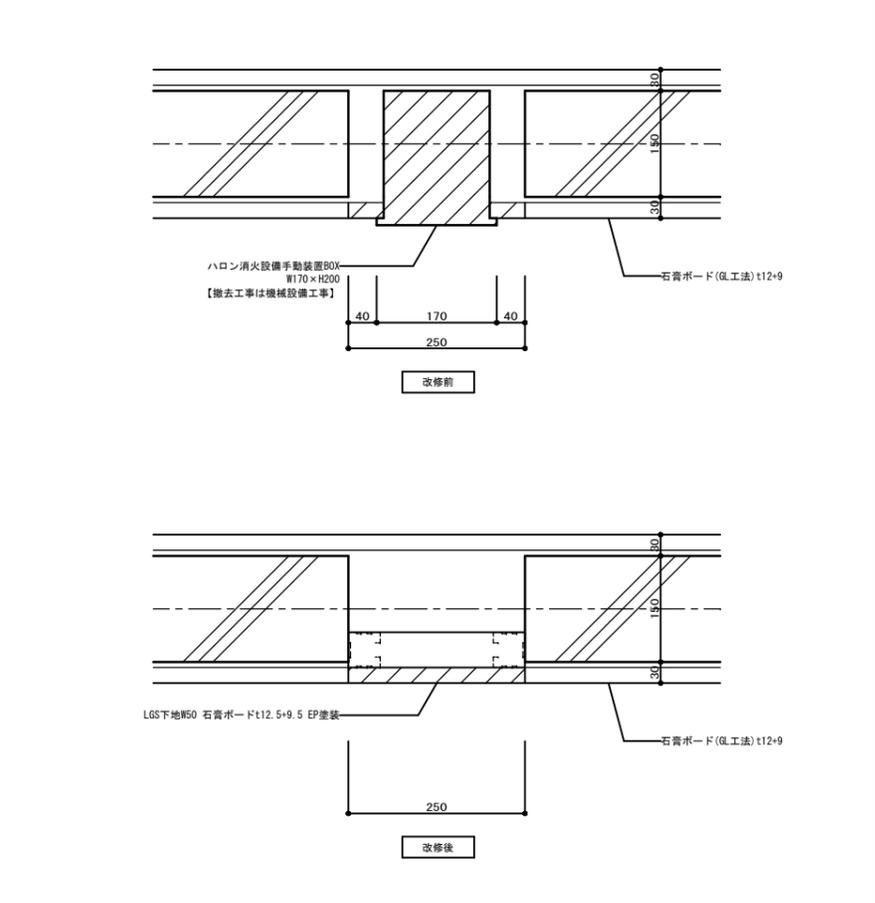
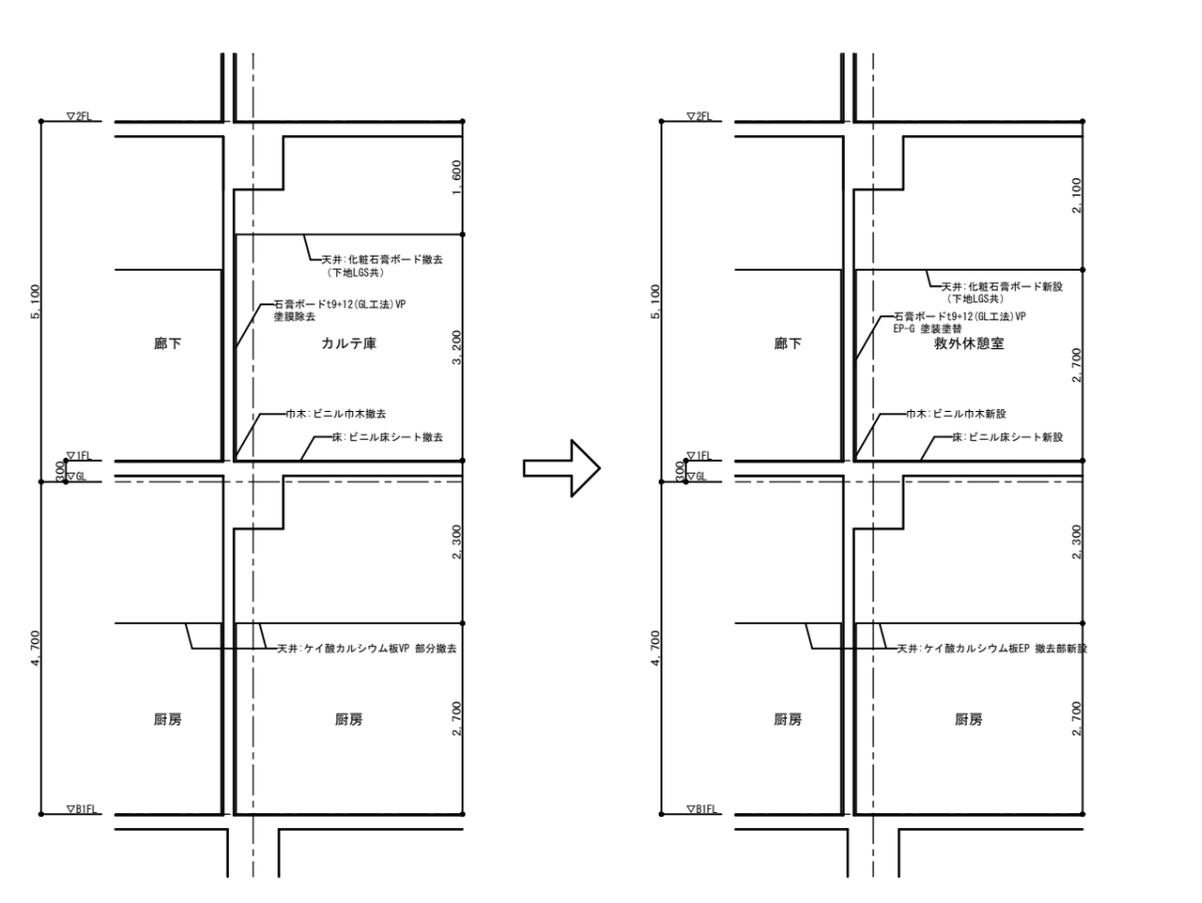
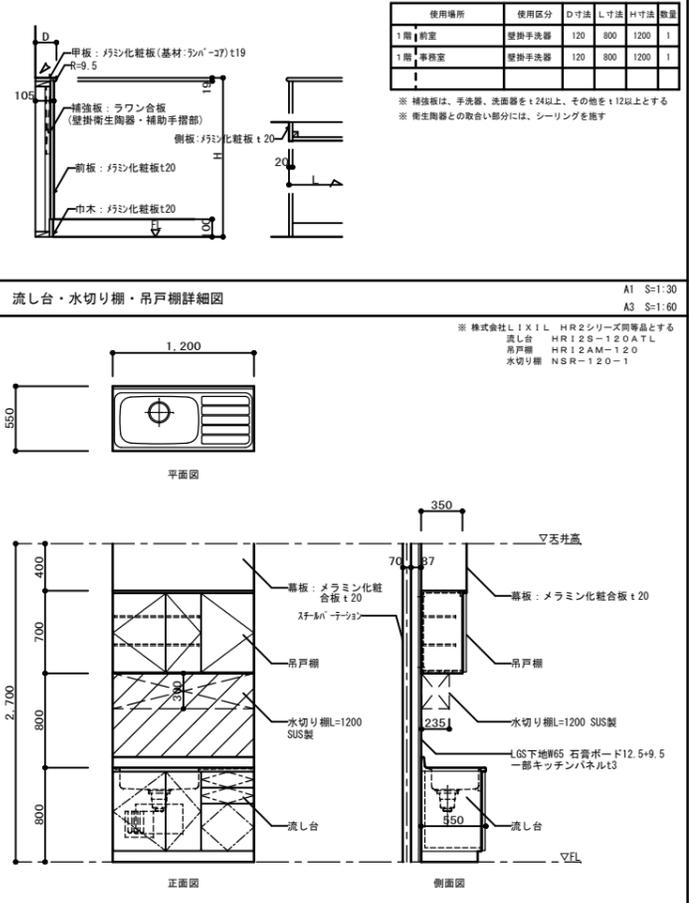
◇仕様表

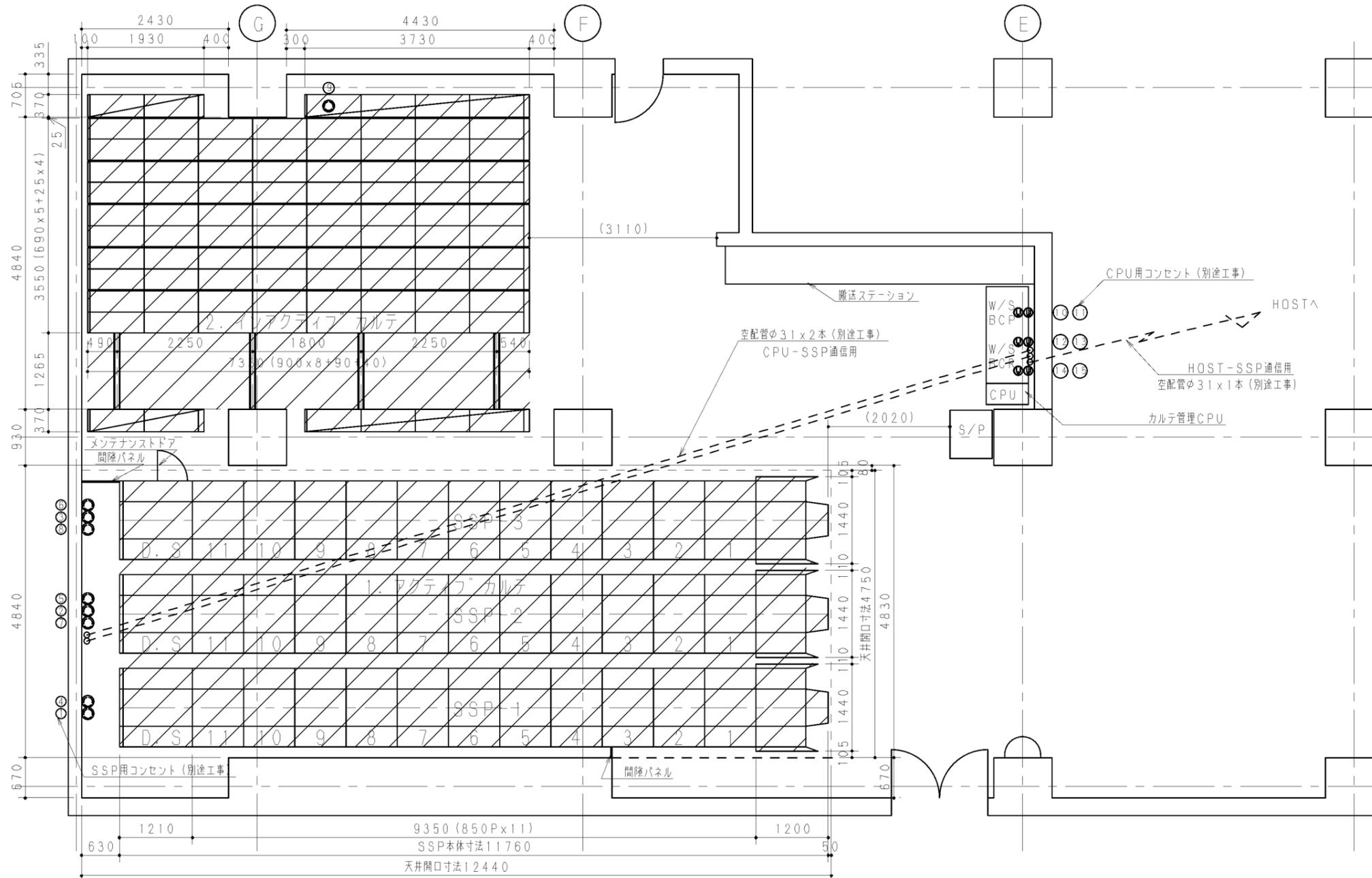
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	床レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	巾木	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)・横棧	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	コーナーポール	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	上横・下横	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
エンドフィニッシュ	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
枠	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス枠	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
ガラス枠ビート	ガラス枠ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6.8mm <グレー色>
	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
芯材	芯材	ペーパーコア
	目板	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
ロック(扉裏・夏夏型・数外扉型)	ロック(扉裏・夏夏型・数外扉型)	キーレックス同等品
	目板	美和 U-9同等品
ドアクローザ	ドアクローザ	ニュースター PS7002LW/リョービ S22PLW
	丁番	旗丁番(ステンレス)
フランズ落し	フランズ落し	ステンレス
	戸当り	床付け戸当り (PT-6, PT-7)
レバーハンドル	レバーハンドル	ステンレス製
	切窓・ガラリ	切窓・ガラリ
切窓ビート	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色>

ライニング詳細図

断面詳細図

開口閉塞詳細図





1. アクティブカルテ [株式会社イトーキ]

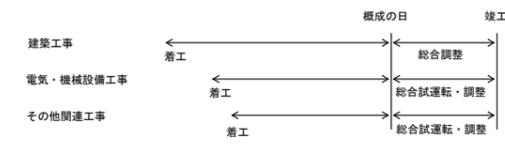
システム・シングルピッカー (SSP) 仕様		
1	規模	9段×11開口×3台
2	外寸	W1440×L11760×H3130
3	総開口	594開口 (8mm用-198開口) (20mm用-396開口)
4	カルテ	A4ヨコ 8mm厚 (64冊/開口) A4ヨコ20mm厚 (32冊/開口)
5	収容量	25344冊 (8mm用-12672冊) (20mm用-12672冊)
CH 3230以上 床耐荷重 800kg/m ² 以上		

2. インアクティブカルテ [株式会社イトーキ]

システム・オートラック (SAR) 仕様		
1	規模	単式固定 7段×2連×2台 単式固定 7段×4連×2台 複式移動 7段×8連×5台
2	総段数	644段
3	カルテ	A4ヨコ 5mm厚 (170冊/段)
4	収容量	109480冊 (6年8ヶ月分)
CH 2600以上 床耐荷重1200kg/m ² 以上		

<シングルピッカー・オートラックの撤去工事は下記範囲を見込むこと>

1. シングルピッカー・オートラック本体の解体
 2. 場内指定廃棄場までの運搬・積み込み
- ※廃材処分費は別途とする

<p>●労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置等</p> <p>●かし等調査への立会い</p> <p>●工事の入札について</p> <p>●各種点検、調査、見学会等への協力</p> <p>●変更等</p> <p>●工事の施工に伴う光熱水費の取扱い</p> <p>○受注者事務所等</p> <p>●現場代理人、監理技術者及び主任技術者</p> <p>●工事の一時中止に係る事項</p>	<p>労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第30条第2項における同法第30条第1項に規定する措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）については、次による。</p> <p>⇒ 該当部分を選択する。</p> <p>☆ 本工事の受注者を指名しない。</p> <p>☆ ○ 本工事の受注者を指名する。なお、この場合における氏名への同意については、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。</p> <p>また、労働安全衛生法第15条、第15条の2及び第15条の3に規定する次の者を労働基準監督署長に報告した場合は、速やかにその写しを監督員に提出する。</p> <p>ア 統括安全衛生責任者 イ 元方安全衛生管理者 ウ 店社安全衛生管理者</p> <p>工事目的物の引渡し日から一年以内（又は二年以内）にかし等調査（工事請負契約書に規定するかし及び不具合を確認するための調査をいう。）を行うので、受注者はその調査に立ち会うものとする。</p> <p>入札（又は見積書の提出）に当たっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。</p> <p>(1) 監督員が所属する部の監督員以外の職員が施工体制、現場管理、施工管理等の適正化を図るため、各種点検、調査等を行う場合は、受注者はこれに立ち会い、協力しなければならない。</p> <p>(2) (1)の各種点検、調査等の結果に基づき、監督員から改善措置等の指示が出された場合は、速やかにその指示に従わなければならない。</p> <p>(3) 監督員が必要とする現場見学会等を開催する場合は、受注者はこれに協力しなければならない。</p> <p>設計変更等については、工事請負契約書に記載しているところであるが、具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約設計変更ガイドライン（建築工事編）」によることとする。</p> <p>また、本工事は設計図書、特記仕様書に示された設備機能を完全に満足させる様に施工するのは勿論の事、一般常識的に必要な工事成績に欠く事の出来ない物、取付位置・寸法等の変更は軽微な変更として取り扱い、これに伴う受注金額の変更は行わない。</p> <p>本工事の施工に伴う光熱水費の支払は、次による。</p> <p>(1) 電気料</p> <p>本受電後は、次表による（新築工事）</p> <table border="1" data-bbox="296 840 652 1029"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事区分</th> <th>基本料金</th> <th>従量料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建築工事</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電気設備工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械</td> <td>空調</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>給・衛</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 改修工事の場合は、それぞれの使用量に応じた従量金を支払う。ただし、工事施工に伴い、契約電力を変更した場合は、従前との差分の基本料金を含む。</p> <p>(2) 水道料</p> <p>本管接続後は、次表による。</p> <table border="1" data-bbox="296 1134 652 1323"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事区分</th> <th>基本料金</th> <th>従量料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建築工事</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電気設備工事</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械</td> <td>空調</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>給・衛</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>本工事で、女性活躍などを支援する電気設備工事現場の環境整備として、作業員用の快適に利用できる水洗式トイレ、女性作業員用の更衣室等を設置する場合は、契約後の協議とする。</p> <p>(1) 本工事が三重県議会提案案件の場合、県議会で可決され契約を締結する前まで、配置予定の監理技術者及び主任技術者は、他の工事に専任で従事することができる。</p> <p>(2) 建築業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定により専任が求められる監理技術者又は主任技術者は、次の期間については工事現場への専任を要しない。</p> <p>○ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）</p> <p>当該期間については、請負契約の締結後、監督員と協議の上、書面において定める。</p> <p>○ 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間</p> <p>当該期間については、請負契約の締結後、監督員からの工事の全部中止の通知により定める。</p> <p>○ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間</p> <p>当該期間については、請負契約の締結後、監督員と協議の上、書面において定める。</p> <p>なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作が可能である場合は、同一の監理技術者又は主任技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。</p> <p>○ 工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間</p> <p>(1) 工事請負契約書第19条の規定により工事を一時中止する場合は、中止期間中における工事現場の維持・管理に関する基本計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、「工事請負契約設計変更ガイドライン（建築工事編）」によるほか、以下の事項を記載すること。ただし、一部一時中止等で、工事現場の維持・管理体制が保たれている場合は、内容を省略することができる。</p> <p>ア 中止時点における工事の出来高、職員体制、労働者数、搬入材料、建設機械器具等の確認に関すること。</p> <p>イ 中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項。</p> <p>ウ 中止した工事現場の管理責任者は、受注者に属するものとし、この旨を明記すること。</p> <p>工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p>	工事区分		基本料金	従量料金	建築工事			○	電気設備工事		○	○	機械	空調		○	給・衛		○	その他			○	工事区分		基本料金	従量料金	建築工事			○	電気設備工事			○	機械	空調		○	給・衛	○	○	その他			○	<p>●実施工程表</p> <p>●施工計画書</p> <p>●施工要領図</p> <p>●保全に関する資料</p> <p>●塗装工事</p> <p>●あと施工アンカー</p> <p>●一般事項</p> <p>●予備品</p> <p>●建設副産物</p>	<p>建築工事では、全体工期から別契約の関連工事に要する機器等の総合試運転及び調整期間を差し引いた概成工期を定め、関連工事の作業と競合する部分の建築工事の仕上げ等は、「概成の日」までに完了するよう工程表を作成している。</p> <p>また、工事の完了が、別契約の関連工事と同時竣工の場合は、これらの調整が完了した日を工事完了日とする。なお、工程表には「概成の日」を明記し、関連工事との連絡調整を十分に行之、工期末に同時竣工するよう協力する。</p> <p>※ 概成工期の概念図（概成工期の定義は、標準仕様書による。）</p>  <p>仮囲い等を敷設する場合は、仮設の施工計画書について監督員の承諾を受ける。また、関連工事の施工要領図を作成し、監督員に提出すること。</p> <p>工種別の施工方法を職員に周知徹底するため、契約後速やかに監督員に提出し承諾をとること。</p> <p>(1) 保全に関する資料の作成内容等は、次による。</p> <p>ア 建物保全データ 電子データで2部 監督員から対象施設の設計時の「建物保全データ」を受領し、竣工データとして更新する。</p> <p>イ その他の保全に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 付属品等引渡し通知書 ● 試験成績書 ● 官公署届出書類（副本） ● 官公署届出書類の写し ● 鍵・備品・工具リスト ● 保証書 ● 建築物等の保守に関する説明書（機械取扱説明書・装置の運転説明書等） <p>※官公署届出書類及び保証書を除き、2部提出すること。</p> <p>(1) 塗料は、次に示すことに配慮した低VOC塗料とする。</p> <p>ア 建築物内装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、VOC含有量 1%以下（鉄部用は5%以下）の水性塗料であること。</p> <p>イ 建築物外装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、従来の溶剤型塗料と比較しVOC含有量を低減した塗料であること。</p> <p>塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとる。</p> <p>また、施工時及び施工後の通風、換気を十分に行之、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。</p> <p>(1) 埋込み配管等の探索の範囲及び方法は、監督員と協議する。</p> <p>(2) あと施工アンカーの性能確認試験は、製造者の標準とする。</p> <p>(3) あと施工アンカーの施工後確認試験は、目視とし監督員の確認による。</p> <p>(4) 既存躯体に穿孔する場合はメタルセンサーリールを使用する。</p> <p>ア 災害発生時は人命の安全を最優先とし、必要な処置及び二次災害の防止に努めるとともに、速報を監督員に報告し、最終的な措置を講じること。</p> <p>イ 本工事に使用する機器は承諾図により監督員の承諾を受けた後に製作する。本図面に記載された型、番、製作者は参考とし、詳細は承諾図にて決定する。</p> <p>ウ 主要機器（受電設備・発電機・盤類・照明器具・その他監督員が指定したもの）は承諾図により作成し、搬入前に検査を受け合格したものを搬入する。</p> <p>エ 本工事成業までに必要な諸手続、申請、各種届出書類の提出及び受電立会い、各種検査の実施及び立会い等は、時期を失することなく計画的にできるだけ早期に実施していくこと。</p> <p>オ 本工事で必要となる各種手続き、請負金、委託、保証金等は全て、工事に係る経費に含まれ、受注者が責任を持って負担すること。</p> <p>なお、電気代金等の費用は、工事が完了し引渡後の間まで受注者が負担し、引渡しに際し必要となる手続きは全て受注者の負担で受注者が責任を持って行うこととし、保安業務の委託にかかわる費用は引渡月の末日までの費用を負担すること。</p> <p>カ AC-GG回路に使用する配線及びコンセントは、線色及び機種色を変える表示を行う等の方法によりAC-GG回路と認識できるようにする。</p> <p>キ 自家発電設備の燃料は、メイン、サブスタック共に満タンの状態で引き渡すこと。</p> <p>ク 発電機・盤類の際に使用するもので形状が特種なものを除き、電気用に標準仕様されている200番の盤を使用すること。</p> <p>ケ 空配管には呼び線を通し、行き先札をつけておくこと。また、配管本体にも工事件名、施工者が分かるよう記載すること。</p> <p>製作者の標準及び 三重県 電気設備標準仕様書による ただし、採用した機器で不要なものは除く。</p> <p>1) 下記法令に基づき、搬入発生材等建設副産物を発生量抑制、再利用、適正処理に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ・資源の有効な利用の促進に関する法律 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・建設副産物処理指針 ・建設副産物適正処理推進要綱 ・静岡県建設リサイクルガイドライン ・静岡県建設土リサイクル指針 <p>なお、上記項目は受注時の最新のものに基づくこと。</p> <p>2) マニフェスト等、建設副産物処理に関する書類を随時整理・管理すること。</p> <p>また、工事完了後に建設副産物処理調書を提出すること。なお、調書の詳細は下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理フローチャート ・運輸経路図（地図にマーカ―すること） ・建設廃棄物処理委託契約書（写し）（※原本は業者保管とし、検査時に提示） ・建設廃棄物処理受託者の収集・運搬・処分に関する知事の許可証（写し） ・建設廃棄物積込時の写真（車両ナンバープレート等が読取可能なもの） ・マニフェスト票（各写し）（※原本は業者保管） ・各処分地等の写真（各都道府県許可番号がわかるもの） <p>なお、検査対象は発生地から最終処分地までとする。</p>	<p>3) 本工事で発生した電線、ケーブル類は関係法令に基づき適正に処理すること。</p> <p>4) 水銀など有害な物質を含む蛍光灯・水銀ランプを処分する場合は、破損させないように養生し、三重県環境整備公社または、それに準じた処理施設へ持込むこと。</p> <p>5) 誘導灯や自動火災報知設備等に使用されている蓄電池はダンボールに梱包の上、リサイクルメーカーに返送し、受入証明書を提出すること。</p> <p>6) 照明器具の安定器や変圧器を処分する場合は、PCB含有を確認の上処理をすること。照明器具の安定器が含有していた場合は適切な容器に収めるとともに、適切な場所に保管し、工事完了後、適切に処理すること。</p> <p>7) イオン化式煙感知器を処分する場合は、製造メーカーに返送すること。</p> <p>なお、建設副産物同様に処理調書を提出すること。</p> <p>8) ブレーカー、天井ボード等の搬去を行う場合はアスベスト含有調査を行い、適切に処分すること。</p> <p>・特記がある場合に限り、メーカー既製品の分電盤・制御盤を使用することができる。</p> <p>・盤類の鍵については、屋内外を問わず原則として下記の通りとする。</p> <p>①キュービクル（製作盤）：NO.2000</p> <p>②分電盤・制御盤等（製作盤）：NO.2000</p> <p>③既製盤：NO.2000</p> <p>・盤のドア表面上部に取付ける盤名称札は、アクリルエッチングプレートをビス止めとする。</p> <p>・盤からの給電先を示すカードホルダー（回路名称）は、文字を太く、大きく明記する。</p> <p>・製作盤のドア表面に設ける図面フォルダーは、鋼板製で溶接とし、結線図だけでなく関係する平面図も入れること。サイズはA4ファイルが入れられる大ききとする。既製盤についてもメーカー標準の図面ホルダーを取り付け、内容は同様とする。</p> <p>・盤のドア表面には施工者銘板（受注者、施工者名・しゅん功年月・連絡先）を取り付ける。</p> <p>・動力盤のブレーカーには負荷名称・電動機容量を明記する。材質は、メーカー規格品か、シール等にてブレーカー近接部に取り付ける。</p> <p>・分電盤、開閉器箱に配線を接続する場合は、原則、端末を取替えること。</p> <p>・分電盤、開閉器箱に1次側配線接続後、増設マーキングをし、増設者・年月を盤表面に記載すること。</p> <p>・防水・防湿が要求される箇所は電線接続は、自己融着テープ巻きの上にビニールテープ巻き仕上げをおこなう。テープ巻きの回数は内線規程による。</p> <p>・電線の接続（使用）に際し、電圧識別（色別）が不明になる場合は、端部のテープ巻き等で明確にしておくこと。</p> <p>・二重天井内のケーブル配線は、吊りボルト等に支持をしてふ設すること。</p> <p>・差込コネクタは1.6mm・2.0mmのサイズで透明製のみ使用可とする。</p> <p>・電線、ケーブルの要所には、合成樹脂製・ファイバ製など、線名札を取り付けること。設置場所、内容については下表による。なお、取付箇所は、ケーブルラックの立上り部等の容易に確認できる場所にする。架空線にはアクリルプレートに下記内容を概ね30mmごとに被覆付帯バンド線にて取り付ける。</p> <p>※1 表中のアクリルプレートとは、アクリルプレートにエッチングして表示することを示す。</p> <p>※2 丸札には、油性マジックで丁寧に表示すること。また、テプラでも良い。</p> <p>※3 ラミネートチューブ加工ではなく、アクリルプレートを使用したいとの申し出があった場合には、アクリルプレートを使用して良い。</p> <p>※4 表中以外の場所でも、水没するおそれのある場所にはアクリルプレートを用いる。</p> <p>※5 プレートの取付は、1点止めまたは2点止めとし、インシュロックまたは被覆付帯バンド線を用いる。</p> <p>※6 プレートの形状は、丸形・楕円・長方形のいずれでも良い。</p> <p>・手の届く範囲(H=2000m以下)のダクター、ダクタークリップ等は端部を保護すること。</p> <p>・盤及びボックス類を水気のある場所に設置する場合、取付面の隙間に防水処理を施す。</p> <p>・盤類と配管との接続口には、ネオシール等を結めること。</p> <p>・分電盤、弱電端子盤内に盤図、系統図、端子接続表、平面図をケース等に収め置くこと。</p> <p>・漏電遮断器の動作確認を現地で行うこと。最小動作電流及び動作時間は現地測定データ又は工場検査時の測定データをブレーカー付近に表示するか、試験結果表を分電盤内の図面ホルダーに保管すること。</p> <p>・コンセントにはテプラ等にて盤名称及び回路番号を貼り付けること。テプラ等はプレート表まで巻き込むこと。また、ジャンクションボックス等にも名称を取り付けること。</p> <p>・電話、放送設備等の設定については、受注者が動作設定（案）を作成し、事前に発注者と打合せをすること。</p> <p>・電話及びインターホンには、内線番号表を取り付けること。</p> <p>・LANジャックには、線番号をテプラ等にて取り付けること。</p>
工事区分		基本料金	従量料金																																															
建築工事			○																																															
電気設備工事		○	○																																															
機械	空調		○																																															
	給・衛		○																																															
その他			○																																															
工事区分		基本料金	従量料金																																															
建築工事			○																																															
電気設備工事			○																																															
機械	空調		○																																															
	給・衛	○	○																																															
その他			○																																															
<p>● 工事名称 三重県立総合医療センターカルテ庫改修工事</p>	<p>● 設計者 田中建築事務所</p>	<p>● 設計年月日 2022.11</p>	<p>● 特記仕様書 2</p>	<p>● A1 S1: NS A3 S1: NS</p>	<p>● E - 02</p>																																													

● 試験・成績表

下記書類を竣工時に用意し、適切に試験を行うこと。監督員から指示がある場合それに従うこと。

工種	試験内容
●電灯・動力設備	●電圧測定表（分電盤等） ●絶縁抵抗測定表 ●接地抵抗測定表 ●照度測定表 ●コンセント極性試験表 ●相回転測定表 ○シーケンス試験表 ○シークエンス試験表 ○非常照明照度測定及び点灯試験表
○受変電設備	○絶縁抵抗測定表 ○接地抵抗測定表 ○耐電圧試験表 ○シーケンス試験表
○自家発電設備	○絶縁抵抗測定表 ○接地抵抗測定表 ○耐電圧試験表 ○シーケンス試験表 ○シークエンス試験表 ○運転試験調整成績表 ○騒音測定表 ○ばい煙測定表
○静止形電源設備	○絶縁抵抗測定表 ○接地抵抗測定表 ○充電試験成績表 ○シーケンス試験表
●電話・通信設備	●絶縁抵抗測定表 ●接地抵抗測定表 ○耐電圧試験表 ●ケーブル通電確認表 ○アンテナ性能試験成績表 ○その他各種試験成績表 ※監督員の指示による
●テレビ共同受信設備	●テレビ端子電界強度測定表 ●映像画質評価表
●拡声設備	●絶縁抵抗測定表 ●非常放送音量測定試験表（アッテネーター含む）
○インターホン設備	○絶縁抵抗測定表 ○電圧変動試験表 ○機器動作試験表
○監視カメラ設備	○映像出力試験成績表 ○その他弱電設備 ○監督員の指示による
●自動火災報知設備	●※消防検査済証・設置屋で代替することが出来る
○医療関係設備	○各種ナースコール装置試験成績表
○医用接地設備	○接地抵抗測定表
●総合	●総合試験・運動表

○ 放射線防護対策

放射線使用室の壁にボックス、壁等を埋め込む場合は、その裏面に必要な厚さの鉛板を当て、放射線防護の処置を行う。
配管の放射線防護は、貫通部径の2倍の長さまで鉛巻きを行うこと。

○ 気密工法

（部屋名： ）
バイオクリーンルーム、手術、バイオハザード及びR1等の各室に設ける電線管、ボックス及び機器等は、他の室との汚染空気の流入を防止するため、シール材充填や防塵パッキンの使用等、気密保持に必要な処理を行う。
（部屋名： ）

● 電線類

配線材は特記なき限り次のとおりとする。
○EEF ○IE ・CET ・FPT
○既存建物のケーブル外皮の色は、既存配線と整合させる。
○EEFケーブルの外皮の色は、一般回路：灰色、保安回路：赤色、UPS回路：青色とする。
○規格等の定めのないものは、ハログゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
・高圧ケーブルは水トリ対策としてCET(EE)3層押出を使用すること。

● コンセントの識別

一般回路は、白色とする。
自家発電回路低圧は赤色、高圧は茶色とする。
UPS回路は、緑色とする。
フラッシュプレートに一次側電源盤名称、回路番号をラベル等により分かりやすく明記すること。
医用コンセントは明工社同等の接地極上向きを使用すること。（GC同様）

○ 発電設備

コージェネについては、機器類に総合効率測定用のセンサー類を設置すること。
保安装置には、蓄電池の充電器や制御電源の配線用遮断器のトリップを警報する機能を設けること。
定格実負荷試験は（ ・ 3時間 ・ 10時間 ・ 72時間）以上行う。

○ 管路式中線路及び直埋式中線路

埋設深さは及び施工は特記なき限り、JIS C 3653による。
埋設配管については、直線部分（10mごと）、曲折箇所、分岐箇所に標示板及び標示ピンを敷設すること。

○ 保護協議

保護継電器等の保護協議検討書（地絡、過電流）を監督職員に提出する。

○ 保温・結露防止

結露するおそれのある壁、天井にボックスを埋込場合、結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置をおこなう。

○ 医用コンセント設備

医用コンセントは、JIS T 10211に適合し、ボディの色（JIS T 10221に準拠）は次による。
商用電源（医用一般回路）…………… 白色
一般/特別非常電源（医用自家発電回路）…………… 赤色
交流無停電電源装置による瞬時特別非常電源（医用UPS回路）… 緑色
フラッシュプレートに一次側電源盤名称、回路番号をテプラ等により明記すること。（テプラ等の色は、コンセントの色と同色とすること。）
医用コンセントは明工社同等の接地極上向きを使用すること。（GC同様）

○ 医用接地設備

医用接地センタ及び医用接地端子
JIS C 2808に適合するものとする。
接地線
医用コンセント、医用接地端子、系統外導電性部分及び医用接地センタに接続する接地線のサイズは、次による。
※ 接地幹線IV 14mm² 以上
※ 接地分岐線IV 5.5mm² 以上
・ 専用接地線 mm² 以上（用途： ）

接地抵抗値
JIS T 10221に適合するものとし、その抵抗値は次のとおりとする。
・ 10Ω以下・100Ω以下

接地極（詳細は、表-2「接地極一覧表」による。）
建築構造体基礎利用
・大地抵抗率をWennerの4種法等により測定し、接地抵抗を求め、計算書及び試験成績書を監督職員に提出する。
※ 接地極を埋設する。
接地抵抗を測定し、試験成績書を監督職員に提出する。

特記なき限り機器の塗装色は下記とする。

名 称	マンセル記号	備 考
特別高圧受電盤類	指定色塗装	屋内:半つや、屋外:全つや
高圧受配電盤類	指定色塗装	同 上
低圧配電盤類	指定色塗装	同 上
フレームパイプ、ダクト	同 上	同 上
電 灯 分 電 盤	指定色塗装	同 上
動 力 制 御 盤	指定色塗装	同 上
弱電用端子盤・TV用分配器箱	指定色塗装	同 上
昇 降 機 用 盤 類	製 造 者 標 準 色	
自家発電用原動機・発電機	指定色塗装	共通台床を含む
自家発電用盤類	指定色塗装	
燃 料 小 出 槽	指定色塗装	ギヤポンプ含む
燃 料 用 配 管	同 上	

注) 建築的色彩調和を必要とするものは、監督職員との協議による。

表-2「接地極一覧表」 接地極が図面に記載がない場合は下表による。

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量	組
・ 共同接地	E ABCD	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
	E ACD	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ A種	E A	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ B種	E B	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ C種	E C	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ D種	E D	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ E種	E E	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ F種	E F	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ G種	E G	Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ H種	E H	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ I種	E I	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ J種	E J	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ K種	E K	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ L種	E L	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ M種	E M	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ N種	E N	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ O種	E O	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ P種	E P	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ Q種	E Q	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ R種	E R	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ S種	E S	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ T種	E T	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ U種	E U	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ V種	E V	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ W種	E W	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ X種	E X	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ Y種	E Y	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ Z種	E Z	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AA種	E AA	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AB種	E AB	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AC種	E AC	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AD種	E AD	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AE種	E AE	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AF種	E AF	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AG種	E AG	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AH種	E AH	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AI種	E AI	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AJ種	E AJ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AK種	E AK	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AL種	E AL	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AM種	E AM	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AN種	E AN	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AO種	E AO	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AP種	E AP	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AQ種	E AQ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AR種	E AR	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AS種	E AS	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AT種	E AT	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AU種	E AU	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AV種	E AV	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AW種	E AW	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AX種	E AX	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AY種	E AY	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ AZ種	E AZ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BA種	E BA	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BB種	E BB	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BC種	E BC	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BD種	E BD	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BE種	E BE	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BF種	E BF	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BG種	E BG	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BH種	E BH	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BI種	E BI	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BJ種	E BJ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BK種	E BK	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BL種	E BL	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BM種	E BM	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BN種	E BN	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BO種	E BO	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BP種	E BP	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BQ種	E BQ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BR種	E BR	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BS種	E BS	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BT種	E BT	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BU種	E BU	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BV種	E BV	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BV種	E BV	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BW種	E BW	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BX種	E BX	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BY種	E BY	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ BZ種	E BZ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CA種	E CA	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CB種	E CB	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CC種	E CC	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CD種	E CD	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CE種	E CE	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CF種	E CF	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CG種	E CG	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CH種	E CH	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CI種	E CI	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CJ種	E CJ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CK種	E CK	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CL種	E CL	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CM種	E CM	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CN種	E CN	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CO種	E CO	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CP種	E CP	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CQ種	E CQ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CR種	E CR	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CS種	E CS	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CT種	E CT	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CU種	E CU	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CV種	E CV	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CV種	E CV	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CW種	E CW	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CX種	E CX	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CY種	E CY	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ CZ種	E CZ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DA種	E DA	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DB種	E DB	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DC種	E DC	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DD種	E DD	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DE種	E DE	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DF種	E DF	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DG種	E DG	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DH種	E DH	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DI種	E DI	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DJ種	E DJ	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DK種	E DK	10 Ω以下	EB (D=14, L=1500又はW=40, L=1200)*3 連	組
・ DL種				

L-L106 (既存分電盤)
AC 1φ3W100/200V 60Hz

MCCB 15kA 3P225AF/175AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
	155	100	薬剤+七ヶ出入口誘導灯	MCCB2P50/20	△							
既存負荷	800	200	ナカ-薬局品庫照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	1496	200	講義室照明	MCCB2P50/20	②							
既存負荷	3120	200	スタッフルーム-殺菌室他照明	MCCB2P50/20	③							
既存負荷	976	200	医事事務室・再診機照明	MCCB2P50/20	④							
既存負荷	-	100	精算機 1	MCCB2P50/20	⑤							
既存負荷	-	100	精算機 3	MCCB2P50/20	⑥							
負荷名称変更 ()内は変更前	692	100	事務室・救外休憩室・前室 伊所-医事事務室照明	MCCB1P50/20	⑦							
既存負荷	529	100	便所・調剤・当直他 換気扇	MCCB1P50/20	⑧							
既存負荷	-	100	入金機 1 電源	MCCB1P50/20	⑨							
既存負荷	300	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑩							
既存負荷	180	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑪							
既存負荷	600	100	当直・スタッフ-前室コンセント	MCCB1P50/20	⑫							
既存負荷	400	100	再診機室・相談室コンセント	MCCB1P50/20	⑬							
既存負荷	200	100	医事事務室フロアコンセント	MCCB1P50/20	⑭							
既存負荷	300	100	医事事務室フロアコンセント	MCCB1P50/20	⑮							
既存負荷	200	100	倉庫・廊下コンセント	MCCB1P50/20	⑯							
負荷名称変更 ()内は変更前	400	100	事務室-前室-会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑰							
負荷名称変更 ()内は変更前	400	100	事務室-救外休憩室-会議室 ファンコイル	MCCB1P50/20	⑱							
追加	1000	200	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑲							
既存負荷	500	100	BGM・インターホン電源	MCCB1P50/20	⑳							
既存負荷	-	200	受付案内看板	MCCB2P50/20	㉑							
追加	600	100	事務室コンセント	MCCB2P50/20	㉒							

12,693VA (11,078VA)	負荷容量合計 <不明箇所除く>	27,342VA (25,610VA)	14,649VA (14,532VA)
------------------------	--------------------	------------------------	------------------------

()内は変更前

※1 増設スペースを使用し、MCCB2P50/20を取付。

注記

- ・太枠 で囲んだ回路を使用回路とする。
- ・盤からの給電先を示すカードホルダー（負荷名称）の変更を反映すること。
- ・（ ）内は変更前を示す。

HG-L106 (既存分電盤)
AC/GC 1φ3W100/200V 60Hz

MCCB 15kA 3P225AF/125AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
既存負荷	1496	200	廊下-事務室-前室照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	1232	200	総合-スタッフ-減菌室照明	MCCB2P50/20	②							
負荷名称・負荷容量変更 ()内は変更前	450	200	会議室-前室 照明	MCCB2P50/20	③							
既存負荷	-	100	不明	MCCB2P50/20	④							
既存負荷	-	100	スペース	MCCB2P50/20	⑤							
既存負荷	-	100	リモコントランス	MCCB2P50/20	⑥							
既存負荷	1200	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑦							
既存負荷	1200	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑧							
負荷名称・負荷容量変更 ()内は変更前	1200	100	救外休憩室コンセント	MCCB1P50/20	⑨							
負荷名称・負荷容量変更 ()内は変更前	600	100	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑩							
負荷名称・負荷容量変更 ()内は変更前	200	100	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑪							
既存負荷	400	100	医事事務室-DI室コンセント	MCCB1P50/20	⑫							
既存負荷	800	100	医事事務室4ロコンセント	MCCB1P50/20	⑬							
既存負荷	500	100	再診機コンセント	MCCB1P50/20	⑭							
事務室	700	100	モデムプリンターコンセント	MCCB1P50/20	⑮							
事務室	1000	100	パソコンコンセント	MCCB1P50/20	⑯							
既存負荷	-	100	スタッフルーム受付コンセント	MCCB1P50/20	⑰							
追加	800	100	救外休憩室コンセント	MCCB2P50/20	⑱							

※1

※2

11,778VA (13,928VA)	負荷容量合計 <不明箇所除く>	20,910VA (28,334VA)	9,132VA (14,406VA)
------------------------	--------------------	------------------------	-----------------------

()内は変更前

※1 増設スペースを使用し、MCCB2P50/20を取付。

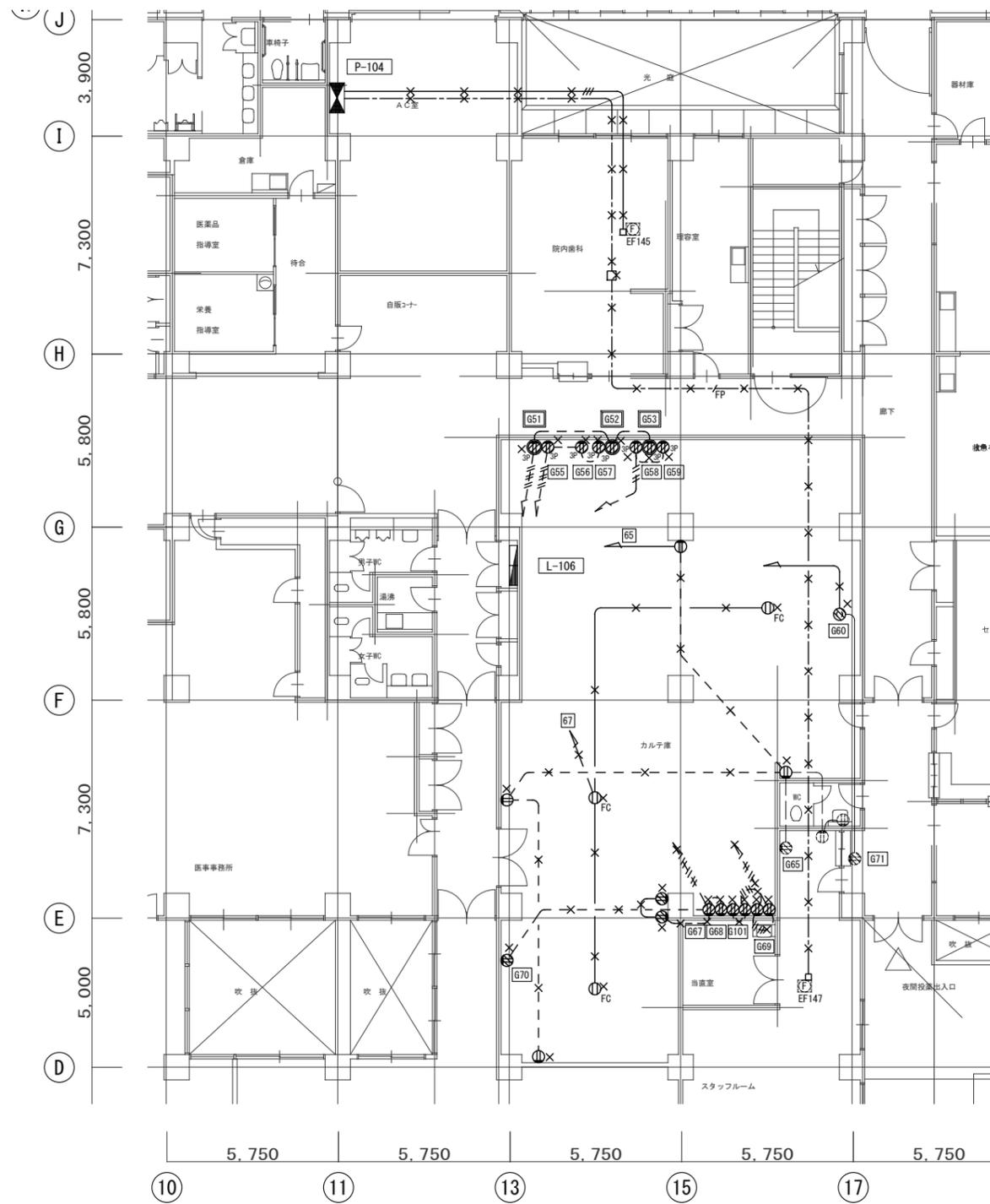
※2 MCCB2P50/20からELCB2P50/20へ改修。

LG-L106 (既存分電盤)
AC/GC 1φ3W100/200V 60Hz

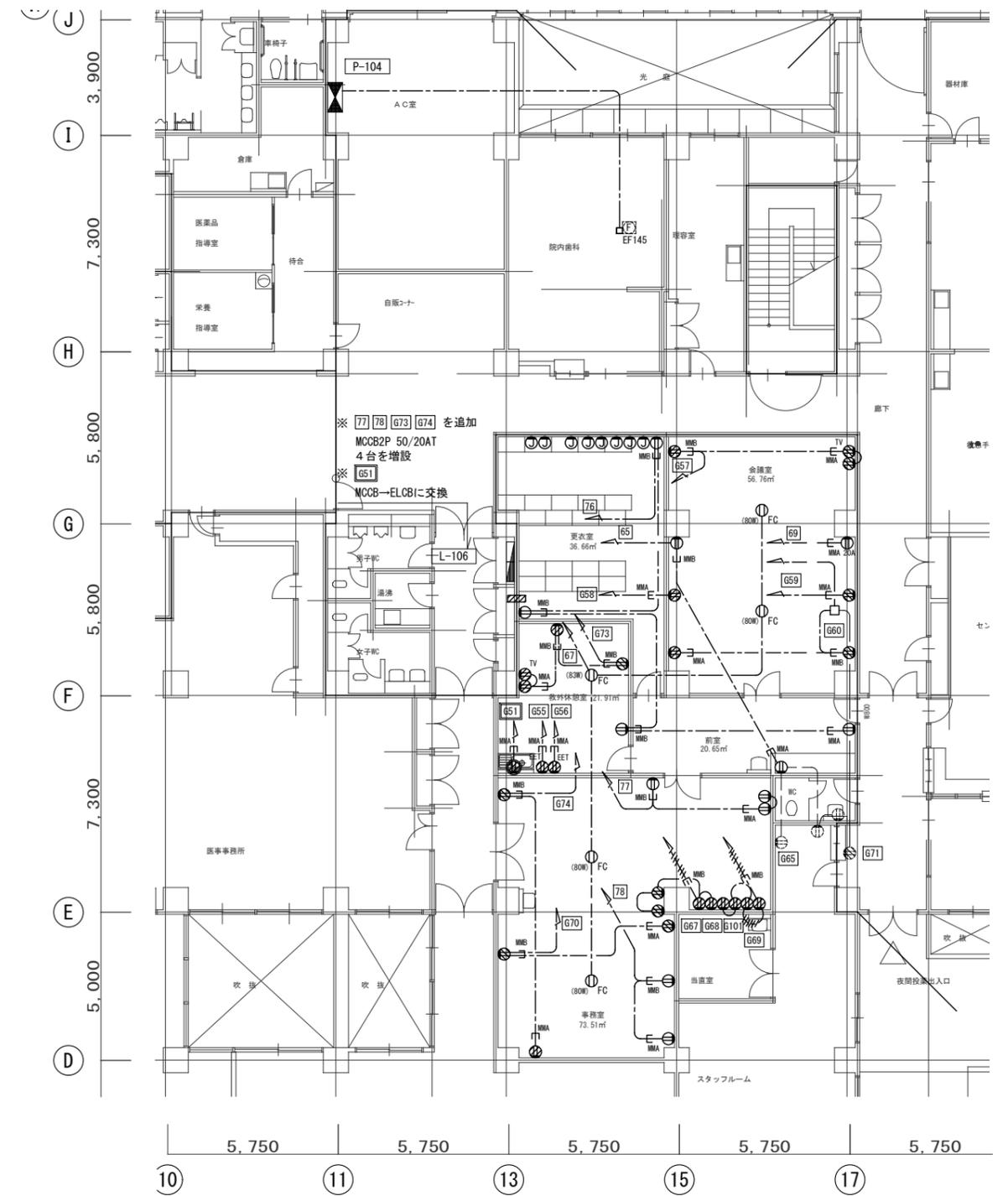
MCCB 5kA 3P50AF/30AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
既存負荷	9650	100/200	LG-LP101	MCCB3P100/75								
既存負荷	2024	200	講義室他照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	-	100	スペース	MCCB2P50/20	②							
負荷名称変更 ()内は変更前	1500	100	事務室コンセント	MCCB2P50/20	③							





1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

注記

1. 特記なき配管配線は下記とする。

<隠蔽配線>

- : 2.0x2 E1.6 (PF16)
- : 2.0x3 E1.6 (PF22)
- : 2.0x4 E1.6 (PF22)

<ケーブル配線>

- : EEF2.0-3C (PF22)
- : EEF2.0-3Cx2 (PF22)
- : FP5.5-3C (PF28)

<床埋込配線>

- : 2.0x2 E1.6 (E19)
- : 2.0x4 E1.6 (E19)
- : 2.0x6 E1.6 (E19)

2. 図中細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。

3. 機器の傍記×は、既設撤去を示す。

4. 記号

斜線の器具はAC/GC回路とする。

記号	名称	備考
Ⓜ	コンセント	2P15Ax2 接地極
Ⓜ _{EET} / Ⓜ _{EET}	コンセント	2P15Ax2 接地極、接地端子付
Ⓜ _{20A}	コンセント	2P20Ax2 200V 接地極
Ⓜ _{FC}	ファンコイル用コンセント	2P15Ax1 接地極付
Ⓜ _{3P}	コンセント (既存)	3P20Ax1 引掛形 1極は接地極
Ⓜ _{3P}	コンセント (既存)	3P20Ax1 200V 引掛形 1極は接地極

記号	名称	備考
□	アウトレットボックス	
Ⓜ	ブラックプレート	
— _{MMA} —	メタルモールA型	
— _{MMB} —	メタルモールB型	

5. 二重天井内はケーブル槽としとする。

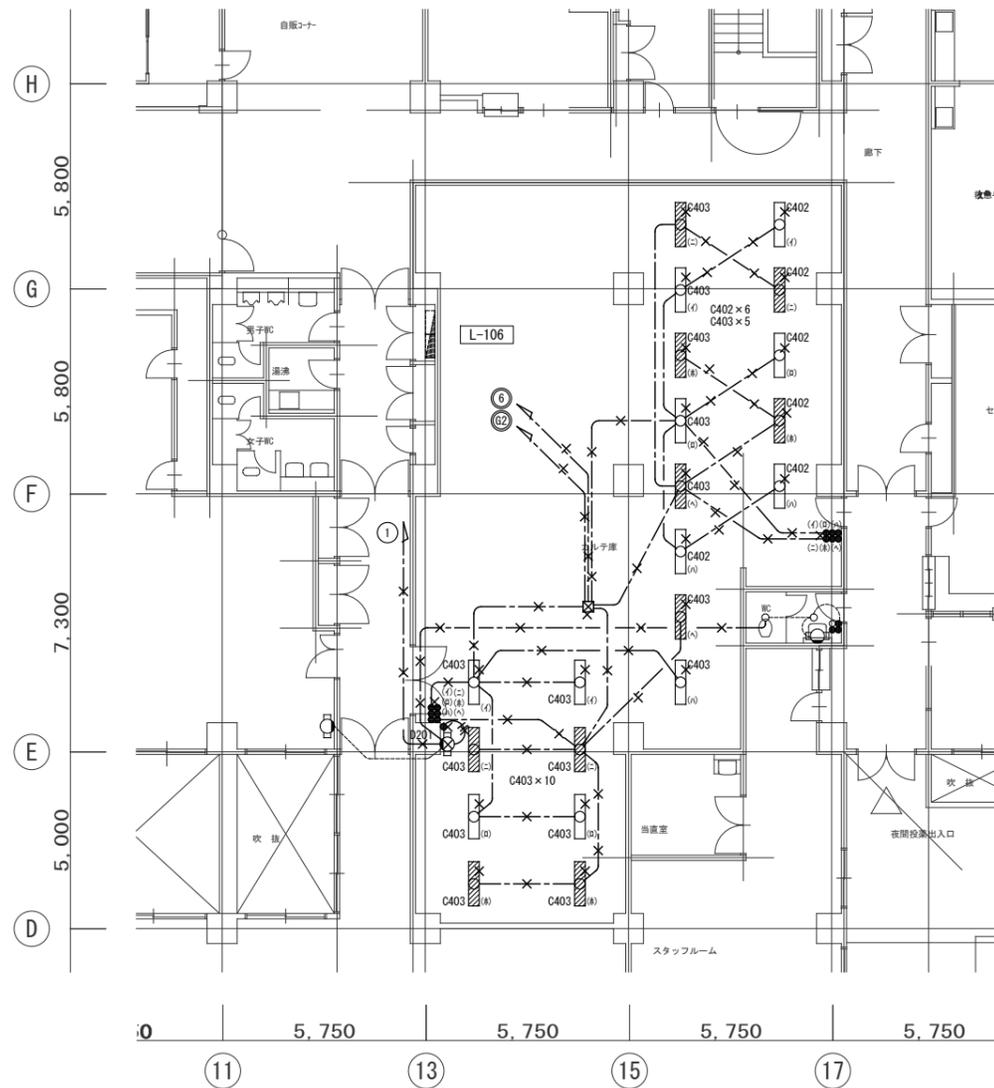
6. 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。
 〰〰〰 : 防火区画貫通処理部分を示す。

7. 回路番号

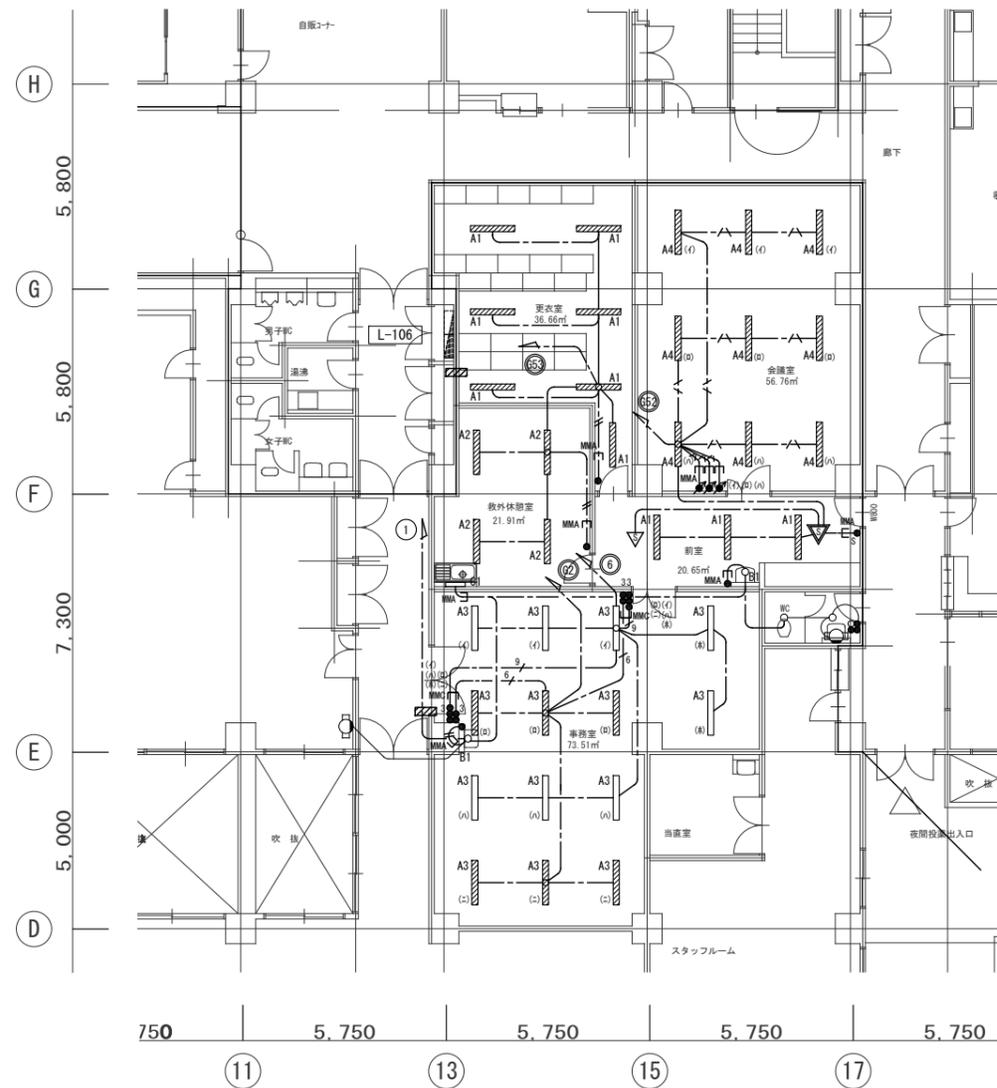
- Ⓜ : AC100V
- Ⓜ₀₀ : AC/GC100V Ⓜ₀₀₀ : AC/GC200V

8. 埋込配管は既存のままとする。

9. 事前調査の上、施工すること。



1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

【注記】

1. 特記なき配管配線は下記とする。

- ＜ケーブル配線＞
- : EEF2.0-2C 保護管 (PF22) (既存はVVF)
 - : EEF2.0-3C 保護管 (PF22) (既存はVVF)
 - : EEF2.0-3Cx2
 - : EEF2.0-3Cx3
 - : EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 - : CEES1.25-2C 保護管 (PF16)

2. 図中細線で示す機器及び配管配線は既設 (工事範囲外) とする。

3. 機器の傍記×は、既設撤去を示す。

4. 記号

記号	名称	備考
●	片切スイッチ 1P15Ax1	
●a	3路スイッチ 3W15Ax1	
⚡	調光スイッチ	片切スイッチ付
●s	人感センサー切替スイッチ	
▽	人感センサー 親器	DS1-N
▽	人感センサー 子器	
☒	プルボックス 200口x200	
MMA	メタルモールA型	
MMB	メタルモールB型	
MMC	メタルモールC型	

5. 二重天井内はケーブルころがしとする。

6. 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理 (国土交通省認定工法) を施すこと。
 ☐ : 防火区画貫通処理部分を示す。

7. 回路番号

- ① ~ : AC100V
- ② ~ : AC200V
- ③ ~ : AC/GC200V

8. 事前調査の上、施工すること。

＜撤去器具表＞

カルテ庫	
C402	x 6
C403	x 15
D201	x 1

＜既設照明器具＞

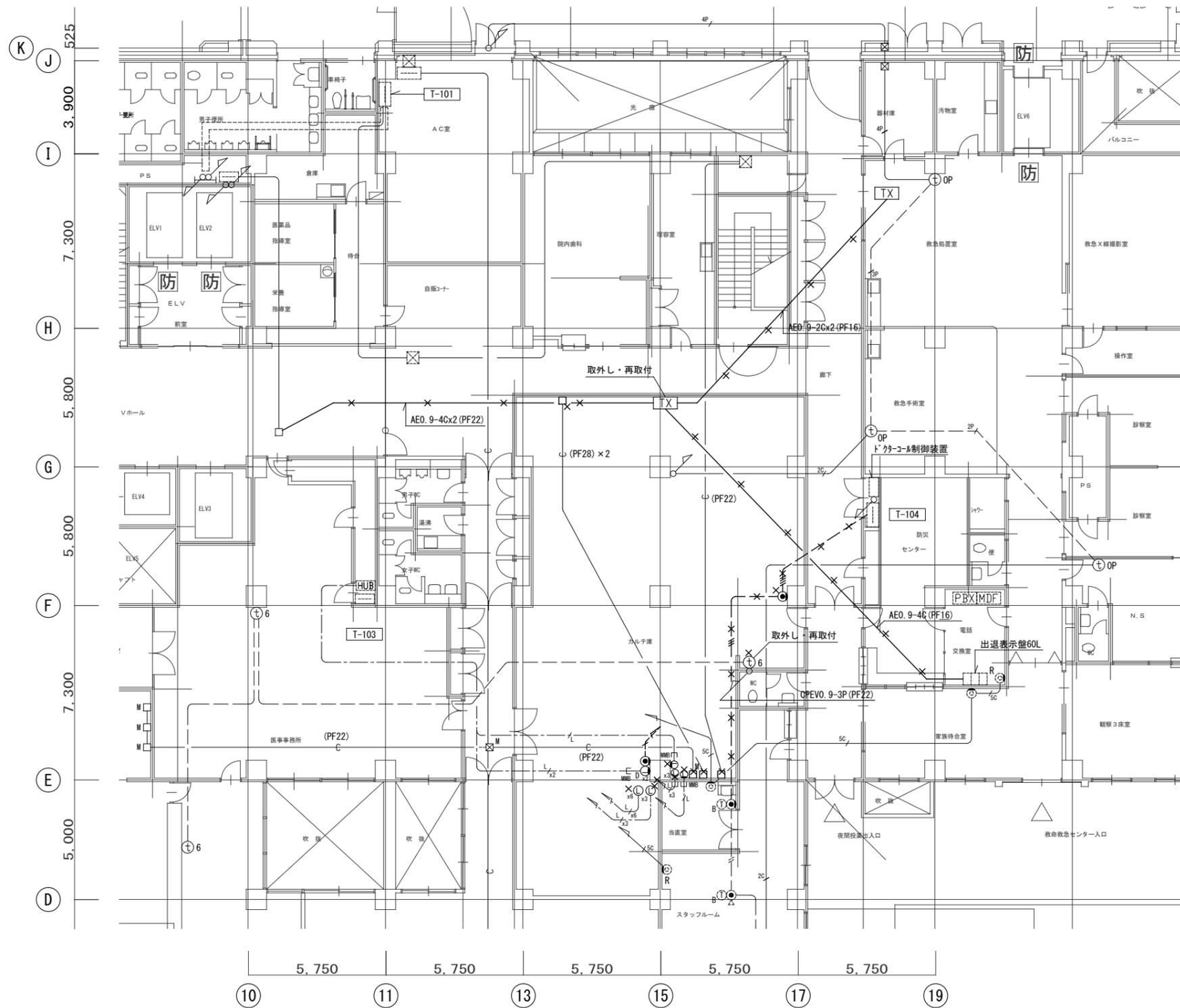
記号	器具	仕様 1
C402	埋込蛍光灯	FL40W x 2
C403	埋込蛍光灯	FL40W x 3
D201	壁付蛍光灯	FL20W x 1

＜新設器具表＞

会議室	更衣室	救外休憩室	前室	事務室					
A4	x 9	A1	x 7	A2	x 4	A1	x 3	A3	x 14
		C1	x 1	B1	x 1	B1	x 1	B1	x 1

＜照明器具参考図＞

A1	A2	A3	A4	B1	C1
LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150 調光5~10%	LEDダウンライト 150形	LEDキッチンライト 2.0形直管蛍光灯 1灯器具相当
一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力2.0、6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A1: XLX450PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-30	一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力3.1、9W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A2: XLX450PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-48	一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、11W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A3: XLX460PENTLE9 相当品 A4: XLX460PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-65	LED内蔵<ワコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 4000K、R#85、拡散タイプ 光源光束角15度、光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 1695lm、消費電力: 1.1、6W、電圧: 100~242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): 銅板 (ホワイトつや消し仕上) 枠: 銅板 (ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ15.0 B1: XND1569MEL9 相当品 公共施設設置用: LRS1-13	昼白色 (5000K)、R#83 器具光束980lm、消費電力1.2W、電圧100V 拡散タイプ、天井付型、壁付付型 カバー: プラスチック (乳白) タッチレススイッチ付 C1: LGB52085E1 相当品	



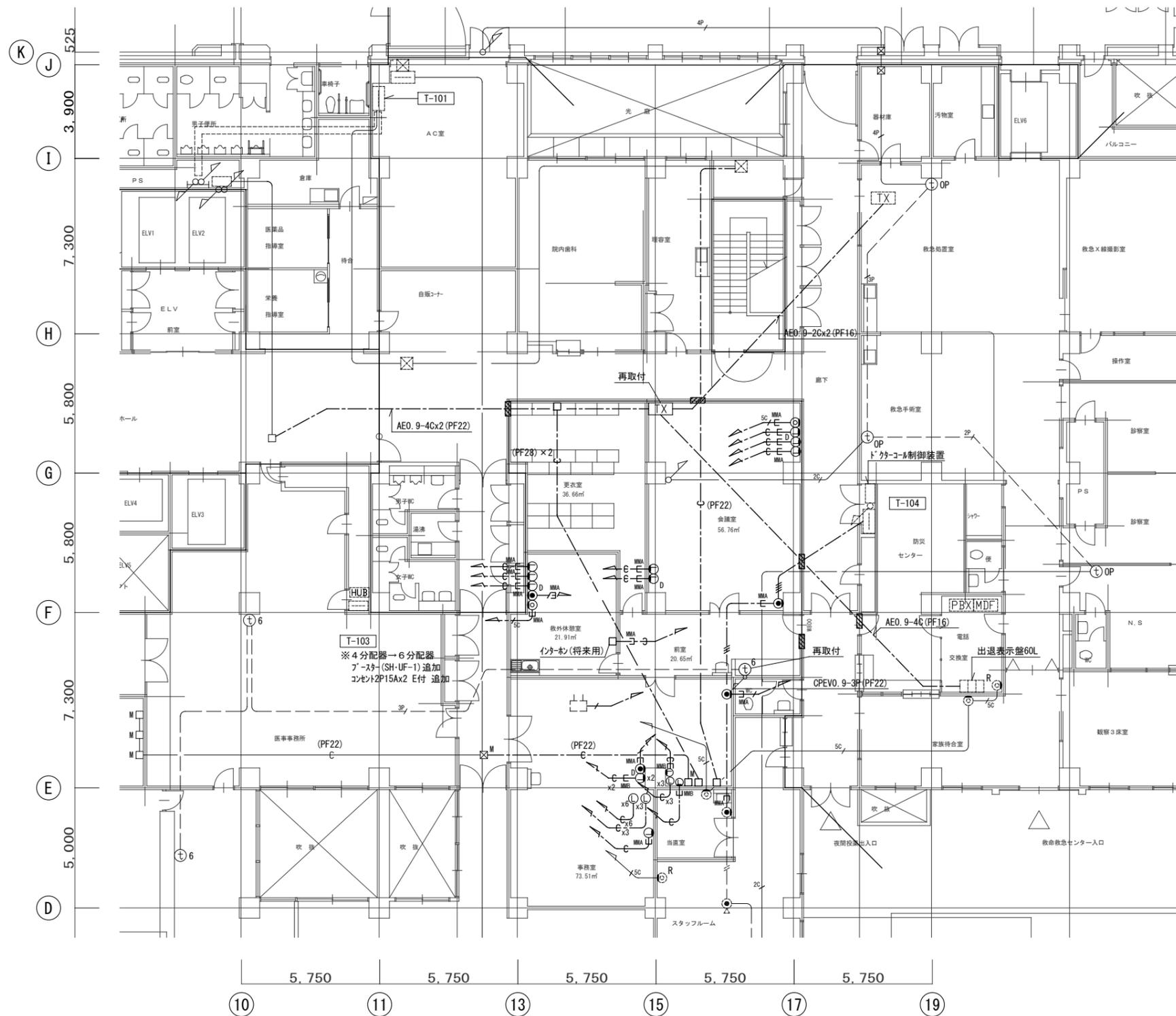
1階平面図 (改修前)

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。
 - - - - - : コロガシ配線
 - - - - - : 天井隠ぺい配線
 - - - - - : 床隠ぺい配線
 <電話>
 - - - - - : TIVF0.65-2C (PF16)
 - - - - - : TIVF0.65-2Cx2 (PF16)
 - - - - - : TIVF0.65-2Cx3 (PF16)
 - - - - - : TIVF0.65-2Cx4 (PF22)
 <情報>
 - - - - - : UTP0.5-4P (別途工事)
 <テレビ>
 - - - - - : S-5C-FB (PF16)
 <インターホン> (既存)
 - - - - - : OPEV0.9-3P (PF22)
- 図中で破線・細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。
- 機器の傍記×は、既設撤去を示す。
- 記号

記号	名称	備考
⊙	電話モジュラジャック	
Ⓛ	LANモジュラジャック	
Ⓛ	LANモジュラジャック	天井付き
⊙	直列ユニット BS-7F-7	傍記Rは終端抵抗
Ⓛ6	連絡用インターホン 相互式6局	
TX	ドクターコール送信機	
MA	メタルモールA型	
MB	メタルモールB型	
-C-	空配管	
□	アウトレットボックス	

- 事前調査の上、施工すること。
- 埋込配管は既存のままとする。



1階平面図 (改修後)

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。
 - : コロガシ配線
 - : 天井隠ぺい配線
 - : 床隠ぺい配線
- <電話>
 - : ICT 0.65-2P (PF16)
 - : ICT 0.65-3P (PF16)
 - : ICT 0.65-4P (PF16)
- <情報>
 - : 空配管 1.2mm呼び線 (PF22)
- <テレビ>
 - : EM-S-5C-FB (PF16)
- <インターホン>
 - : 空配管 1.2mm呼び線 (PF22)

2. 図中で細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。

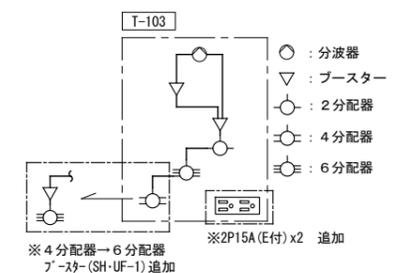
3. 記号

記号	名称	備考
⊙	電話モジュラジャック	
⊕	LANモジュラジャック Cat.6	傍記Dは電子カルテ用
⊕	直列ユニット BS-7F-7	傍記Rは終端抵抗
⊕6	連絡用インターホン 相互式6局	
⊕OP	手術室系インターホン端末機	
TX	ドクターコール送信機	
MMAE	メタルモールA型	
MME	メタルモールB型	
PHS	PHSアナ ※別途工事	樹脂OB中浅 引出用丸電話線プレート取付
□	アウトレットボックス	

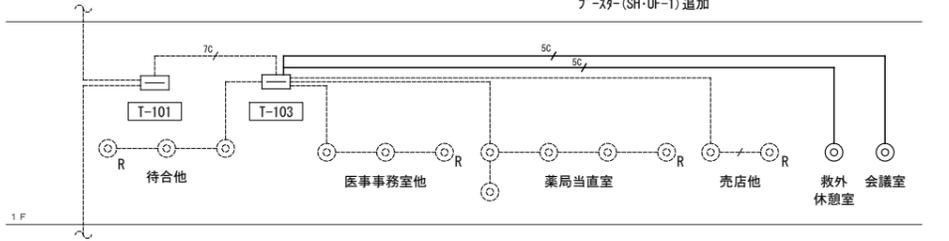
5. 二重天井内はケーブルこらぎとする。

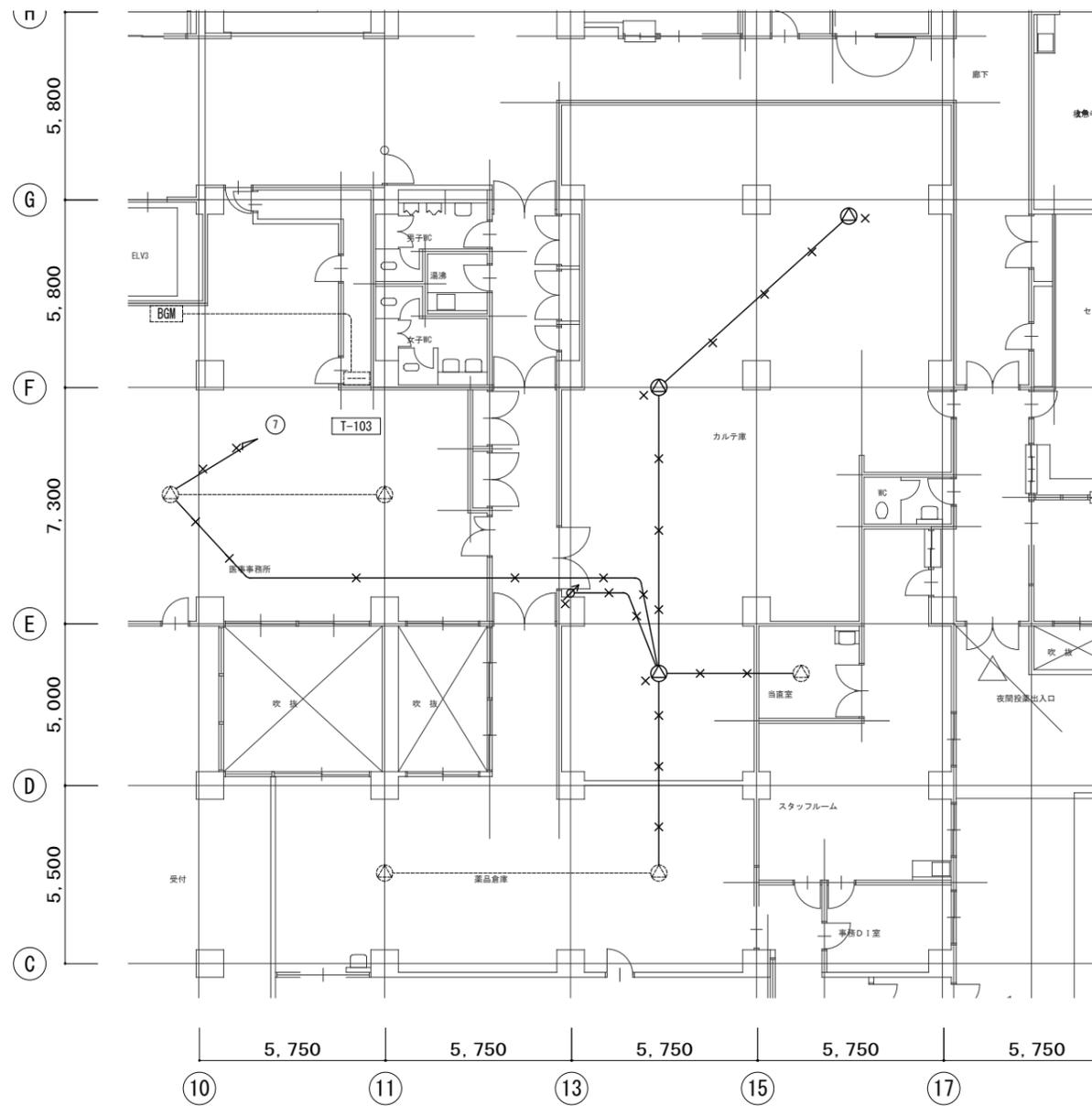
6. 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。

斜線 : 防火区画貫通処理部分を示す。

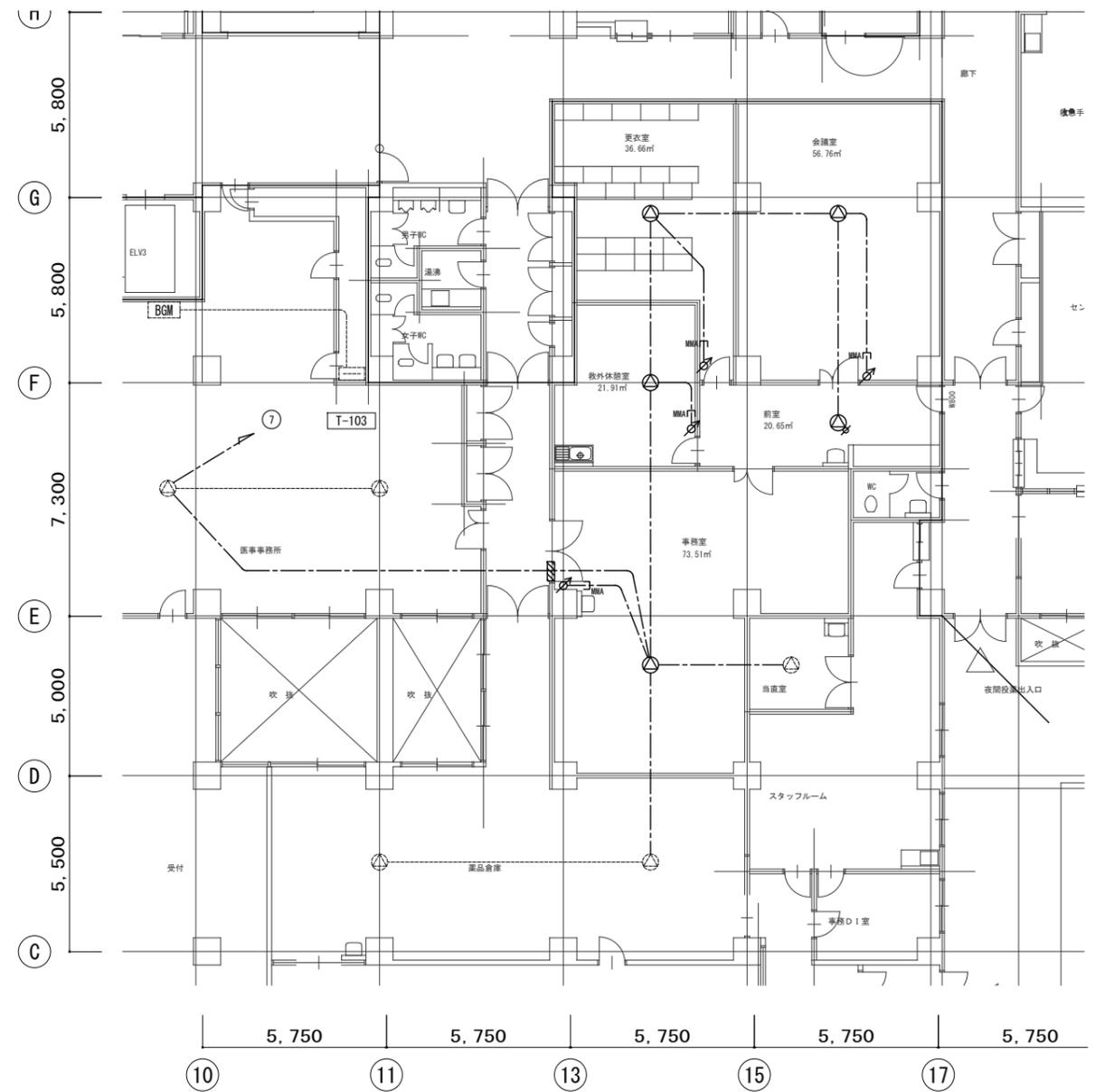


テレビ共同視聴設備系統図





1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

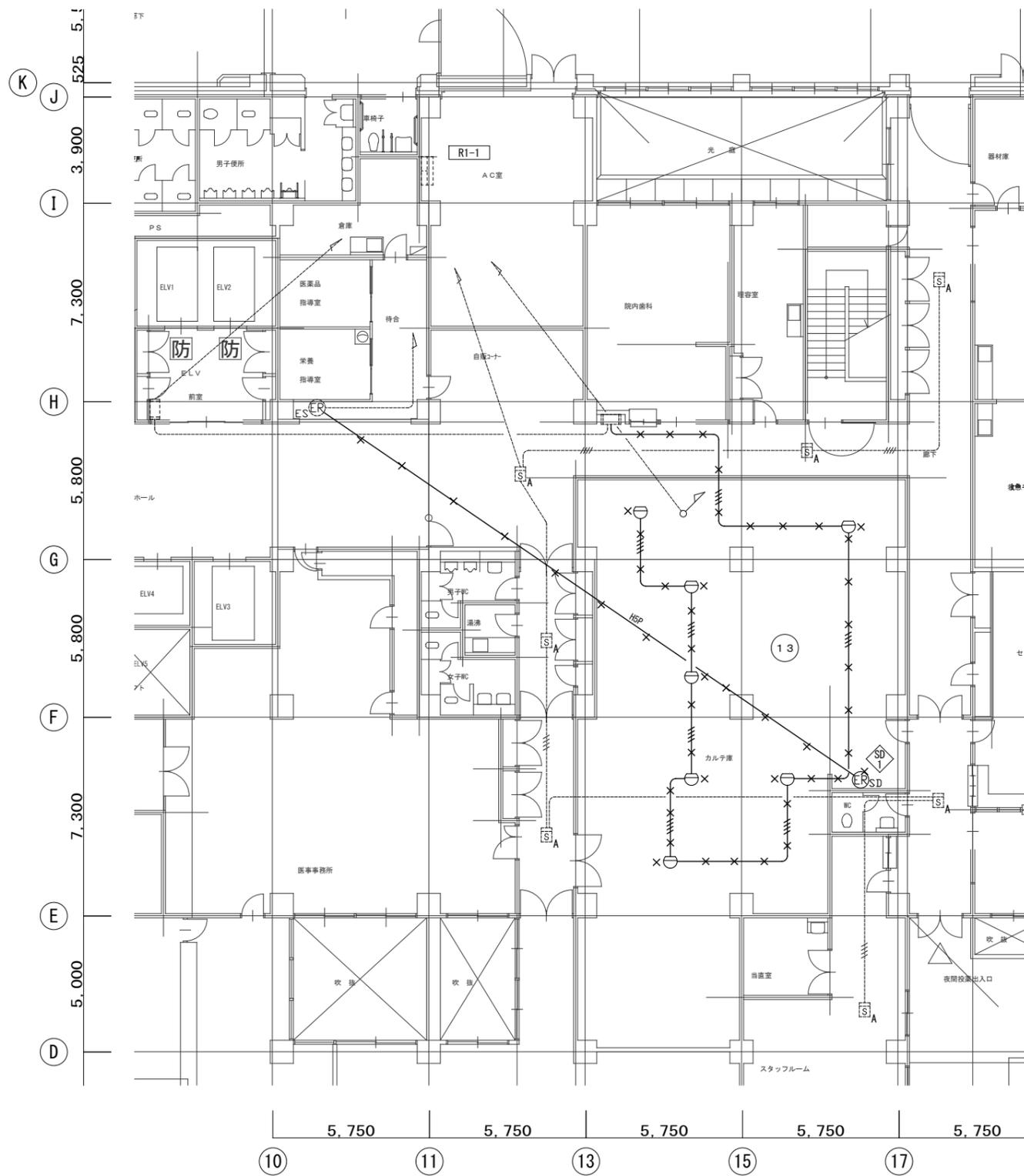
注記

- 特記なき配管配線は下記とする。
 <配管配線>
 : HP1.2-3C (PF16)
 <ケーブル配線>
 : EM-HP1.2-3C 保護管 (PF16)
 : マルモールA型
 2. 図中破線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。
 3. 機器の傍記×は、既設撤去を示す。

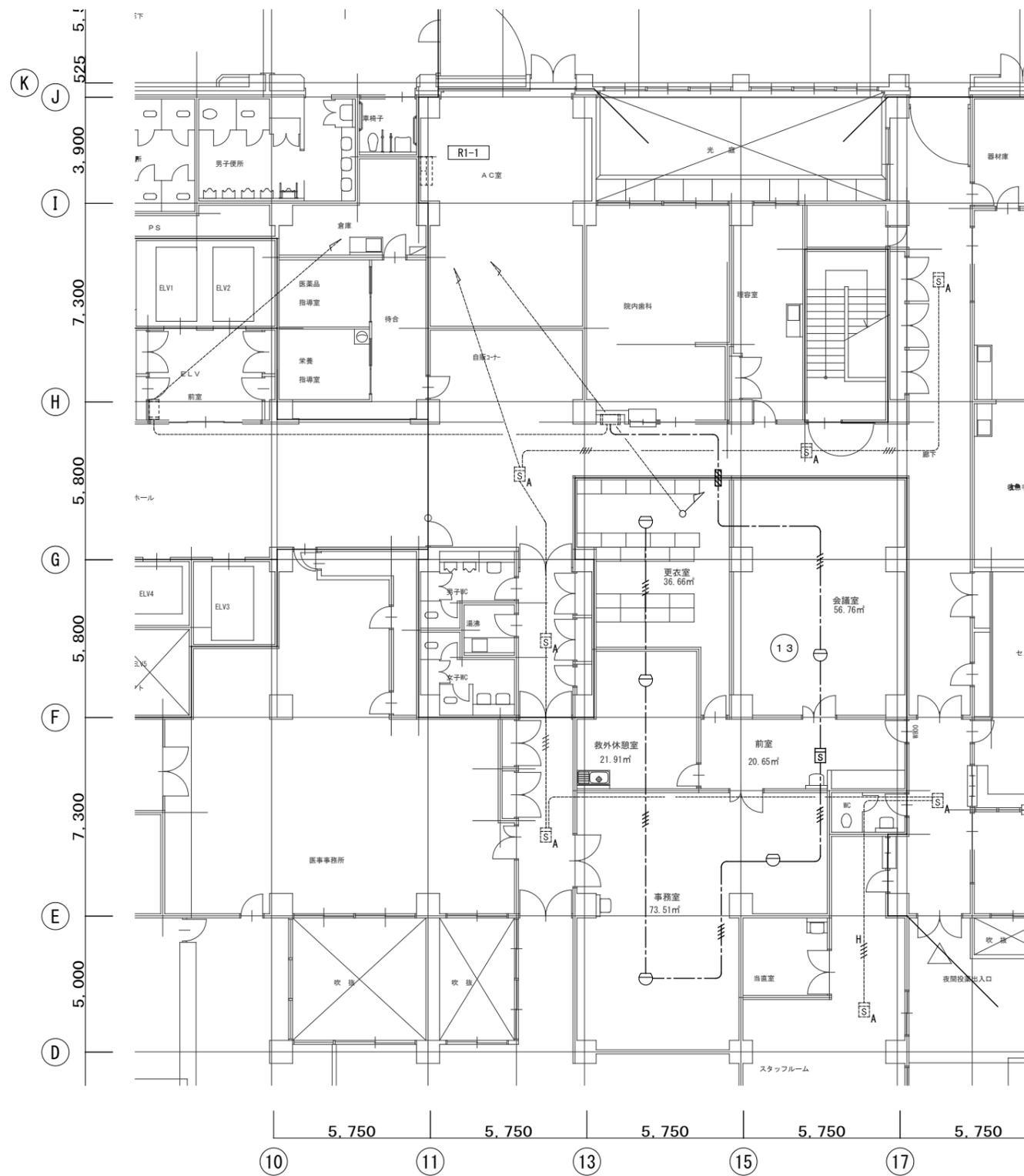
4. 記号

記号	名称	備考
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT無)	1W
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT付)	1W
⚡	アッテネーター	

- 二重天井内はケーブルころがしとする。
- 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。
- 埋込配管・配線は既存のままとする。
- 事前調査の上、施工すること。
- スピーカー容量
 既設スピーカー容量 1355W
 増設スピーカー容量 2W
 計 1357W < パワーアンプ容量 1440W・・・OK



1階平面図 (改修前)

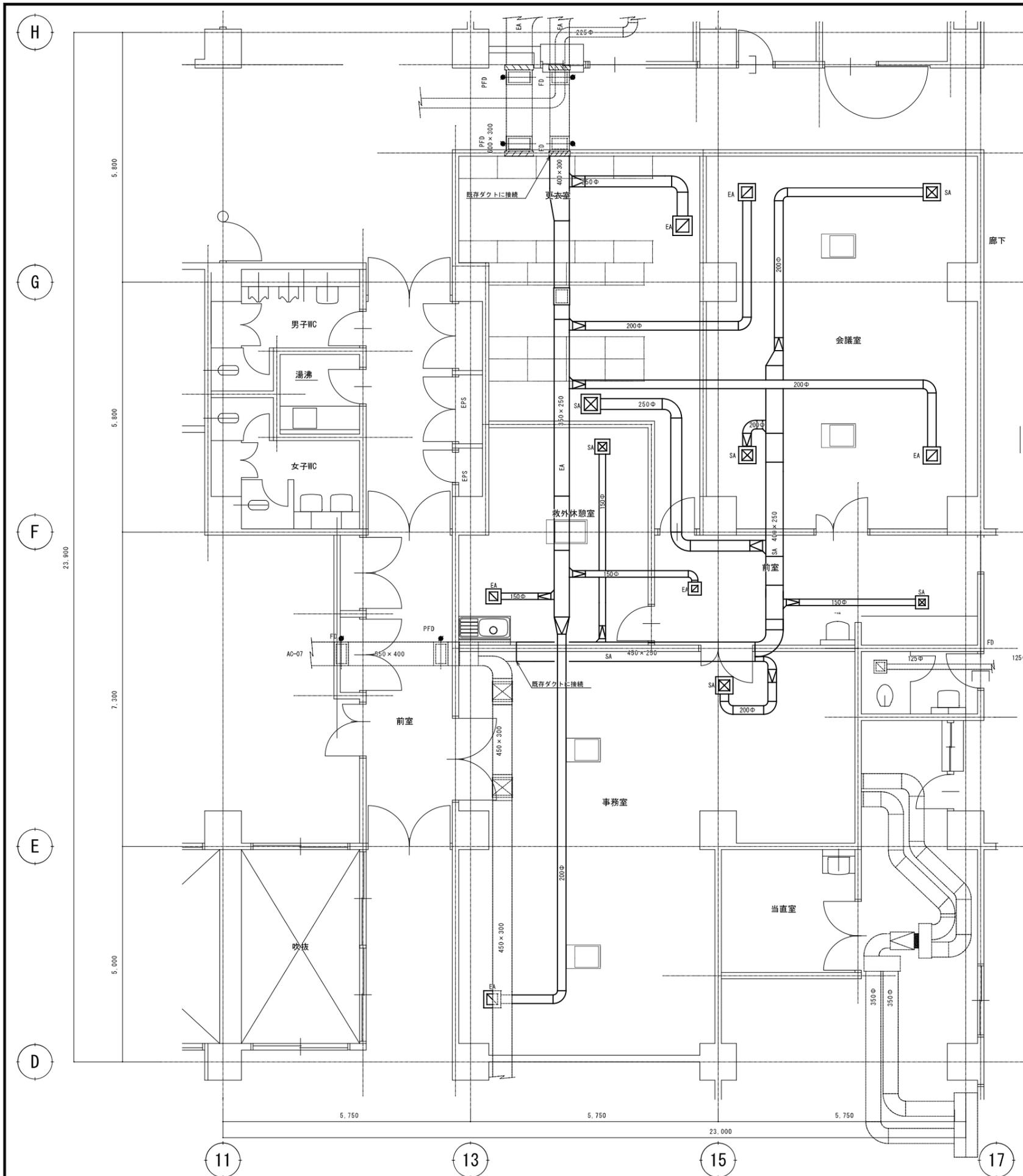


1階平面図 (改修後)

機械設備工事特記仕様書	
1 工事名称	三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事
2 工事場所	四日市市大字日永5450番の132
3 建築概要	SRC、RC、S造 延べ面積 32,628.56㎡ 消法令の適用 6項イ
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 三重県公共工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）最新版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針最新版」 国土交通省国土技術政策総合研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針最新版」 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書と併りに施行することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と併りの施行であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 1) 工事書類： ・ 施工計画書 ・ 打合記録 ・ 材料搬入報告書 各1部ずつ ・ 施工要領書 ・ 工程表 ・ 安全・訓練実施記録 ・ 機器明細図 ・ 工事日報 ・ 品質確認書類 ・ 工事写真（データ）等 2) 工事完成図書： ・ 完成図（竣工図〔製本3（原寸1部、A3（見開き）2部）・ 施工図〔製本1部〕 ・ 機器完成図（ファイル等2部） ・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）2部 ・ 機器性能試験成績書2部 ・ 総合調整測定表（試験結果・測定結果等）2部 ・ 官公署届出書類、検査済証2部 ・ 出来形確認書類2部等 ※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。 ※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編、工事完成図書編）に基づき電子納品すること。 ※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（平成24年版）に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。 (2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。 (3) 官公署等への届出手続 工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、請負者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器の設置届については、機械設備にて設置届を提出する必要がある場合、届出を行うこと。 2) 防火対象物使用開始届については、書類の作成（機械設備図面の用意及び機械設備に関する部分の記述）を行うこと。 (4) 品質管理 工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。 (5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ (6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない (7) 耐震安全性の分類 構造体（I）類 建築非構造部材（A）類 建築設備（甲）類 (8) 機器の地震力（主要機器） 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ 地域係数（1.0） 水槽類 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ 地域係数（1.0） その他監督員が指示するもの (9) 冷媒（フロン類）の回収 □適用する ■適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.1.20により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・ フロン回収行程管理表 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

6 工事種目	給排水衛生設備工事 (1) 屋内給水設備工事 (2) 屋内排水設備工事 (3) 衛生器具設備工事 (4) スプリンクラー消火設備工事 (5) 給湯設備工事 (6) ハロン消火設備工事 (7) 撤去工事 空調設備工事 (1) 空調設備工事 (2) 換気設備工事 (3) 計装工事 (4) 撤去工事 (5) (6)																							
7 工事概要	給排水衛生設備工事 (1) 屋内給水設備工事 本工事は既存給水管より取り出し衛生器具等の必要箇所へ給水する。 (2) 屋内排水設備工事 本工事は衛生器具等の排水を既存排水管へ接続する。 (3) 衛生器具設備工事 前室に手洗器の新設（自動単水栓（発電）） 救外休憩室に流しの新設（シングルレバー混合栓＋電気温水器） 事務室の手洗器は撤去新設（TOTO：LS850APA） (4) スプリンクラー消火設備工事 既存スプリンクラー配管より分岐 各室にスプリンクラーヘッドの設置 (5) 給湯設備工事 流し下に貯湯式電気温水器（12L）設置（飲用不可） (6) ハロン消火設備工事 既存ハロン消火配管の撤去 (7) 撤去工事 本工事は既存配管及び器具の撤去を行う。 撤去範囲は図示の通りとする。																							
空調設備工事	(1) 空調設備工事 既存ファンコイルの撤去 会議室、救外休憩室、事務室にファンコイルの新設																							
空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>乾球温度℃</th> <th>湿球温度℃</th> <th>相対湿度%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外気条件</td> <td>夏期</td> <td>34.5</td> <td>27.3</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>1.7</td> <td>-1.3</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内条件</td> <td>夏期</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>22</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6	冬期	1.7	-1.3	49.6	室内条件	夏期	26	-	-	冬期	22	-	-
		乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%																				
外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6																				
	冬期	1.7	-1.3	49.6																				
室内条件	夏期	26	-	-																				
	冬期	22	-	-																				
(2) 換気設備工事	既存ハロン排気ファン（EF-147）及びダクトの撤去 既存外調機（AC-07）排気ファン（EF-147）は再利用 更衣室、会議室、救外休憩室、前室、事務室に第1種換気（0A、EA） (3) 計装工事 会議室、救外休憩室、事務室に空調用リモコンを設置 配線はモールにて露出配管 (4) 撤去工事 本工事は既存配管及び機器の撤去を行う。 撤去範囲は図示の通りとする。																							
※はつり穴空け、穴埋め補修（外壁はシールする）は機械設備工事とする。																								

8 総合調整	(1) 風量調整 ■ 適用する □ 適用しない (2) 水量調整 ■ 適用する □ 適用しない (3) 室内外空気温度測定 ■ 適用する □ 適用しない (4) 室内外空気湿度測定 □ 適用する ■ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する ■ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する ■ 適用しない (7) 飲料水の品質の測定（水道法施行規則第10条による水質検査） □ 適用する ■ 適用しない のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度（について測定を行なうこと。 ※遊離残留塩素については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。 (8) その他（クリーンルームの清浄度の測定、クラス10000） □ 適用する ■ 適用しない
9 工事細目	(1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
■ 給水管	■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 （一般：SGP-VA、VB 地中：SGP-VD） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD） □ 水道用硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 （一般・地中：H1VP） □ 水道用ポリエチレン管 JWNA K 144（地中：PE） ※ 地中埋設管VDは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。
■ 雑排水管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間：硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 土間：建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 AS-59（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 通気管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間：硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 汚水管	□ メカニカル型排水用鉄管 JIS G 5525（1種） □ 排水用塩ビライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 MDJ 002 □ 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 土間：建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 AS-59（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 鉛管	□ 排水用鉛管 SHASE-S203
□ 給湯管	□ 耐熱塩ビライニング鋼管 JWNA K 140 （一般：SGP-HVA 地中：内外面耐熱塩ビライニング鋼管） □ 一般配管用ステンレス鋼管、配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448、JIS G 3459）
□ ガス管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 土間：塩化ビニル被覆鋼管（黒） □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE） ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 （注）都市ガスの場合、ガス管機を供給業者の仕様と適応修正のこと。
■ 消火管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白） WSP041（SGP-VS） ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
□ 屋外埋設排水	□ 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（I類水路用遠心力鉄筋コンクリート）
■ 冷温水配管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 耐熱塩ビライニング鋼管 JWNA K 140 （一般：SGP-HVA）
□ 冷水管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 （一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB）

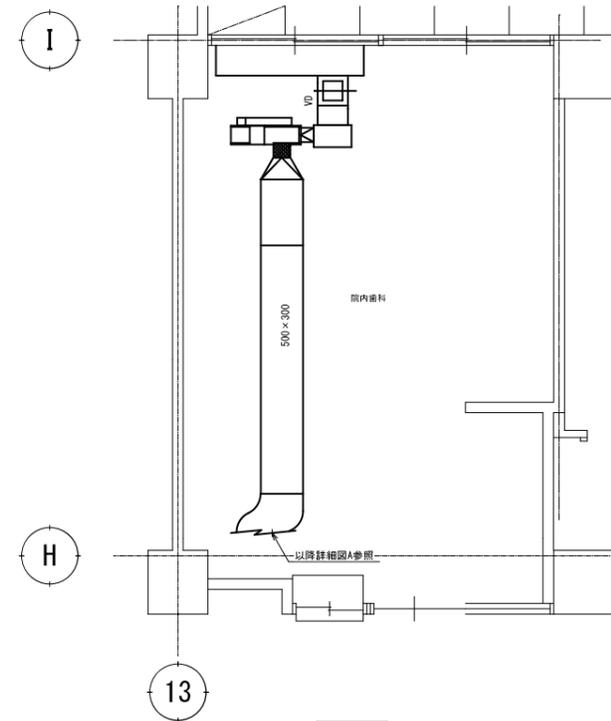
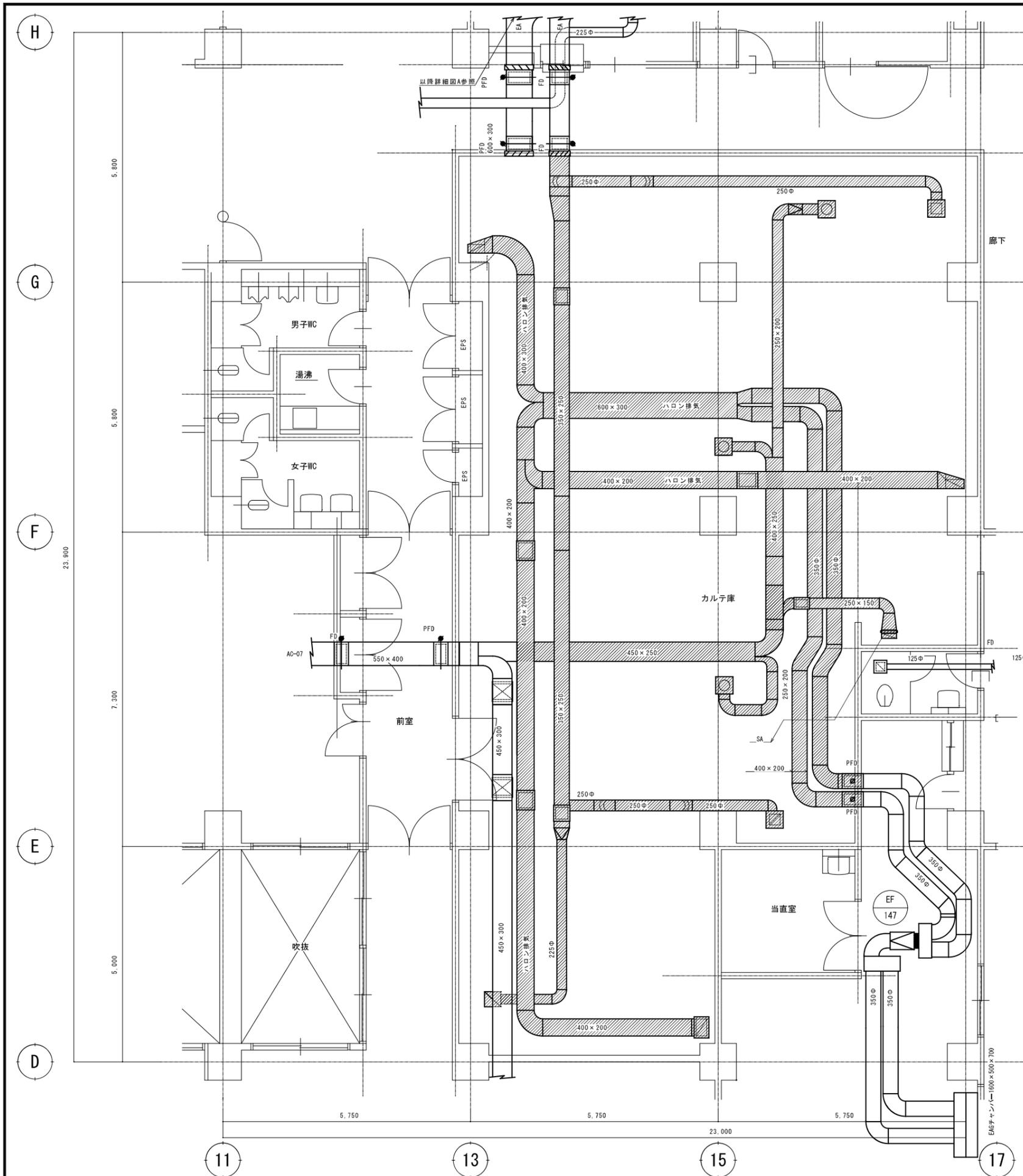


制気口リスト

室名	系統	吹出口				総風量 (CMH)	ボックス			吹込口				ボックス			備考	
		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)	系統	形式	寸法	風量 (CMH)	個数	総風量 (CMH)	寸法	内貼 (GW)		
更衣室	A C-07	VHS	300×300	500	1	500	450×450×400H	○	E F-145	HS	300×300	500	1	500	450×450×400H	○		
会議室	A C-07	VHS	250×250	435	2	870	400×400×350H	○	E F-145	HS	250×250	435	2	870	400×400×350H	○		
受付休憩室	A C-07	VHS	200×200	210	1	210	350×350×300H	○	E F-145	HS	200×200	210	1	210	350×350×300H	○		
前室	A C-07	VHS	150×150	150	1	150	300×300×200H	○	E F-145	HS	150×150	150	1	150	300×300×200H	○		
事務室	A C-07	VHS	250×250	400	1	400	400×400×350H	○	E F-145	HS	250×250	400	1	400	400×400×350H	○		

凡例

	吹出口
	制気口吹込口
	給気ダクト
	排気ダクト
	防火ダンパー
	ガス圧式防火ダンパー



制気口リスト

室名	系統	吹出口				総風量 (CMH)	ボックス		系統	吹込口				総風量 (CMH)	ボックス		備考
		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)	
カルテ庫	AC-07	アネモ	C-2	250φ	717	3	2150	400x400	○	EF-145	HS	300x300	538	4	2150	450x450	○

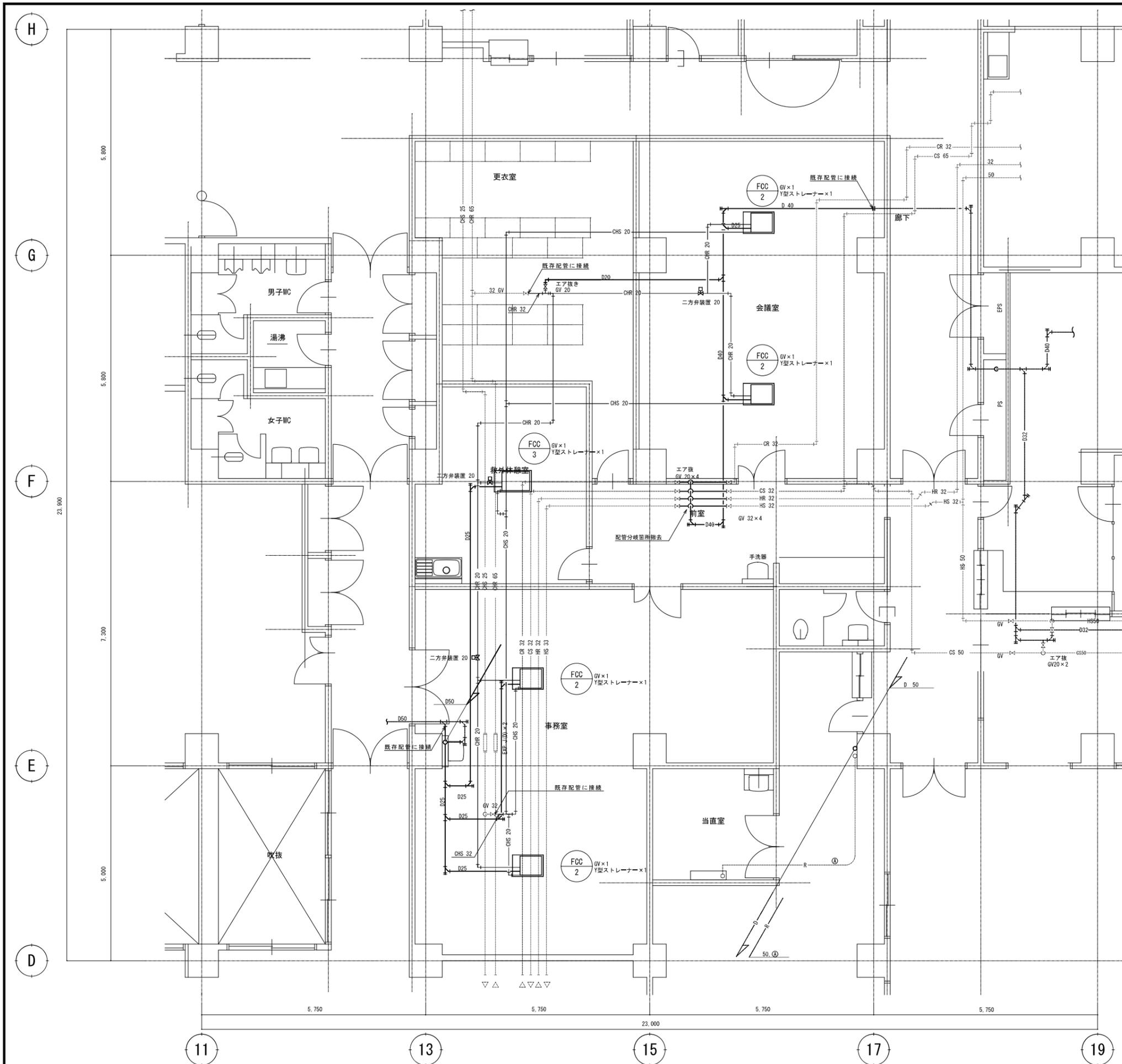
機器表

記号	名称	仕様	電源			数量	設置場所	備考
			相	電圧 (V)	kW (W)			
EF-147	排気ファン	形式: ライン 風量: 3600m ³ /s 付属品: 天吊金物	3	200	1.5	2	医療事務室 院内歯科	

凡例

□	吹出口
□	制気口吹込口
—SA—	給気ダクト
—EA—	排気ダクト
FD	防火ダンパー
PFD	ガス圧式防火ダンパー
VD	風量調節ダンパー

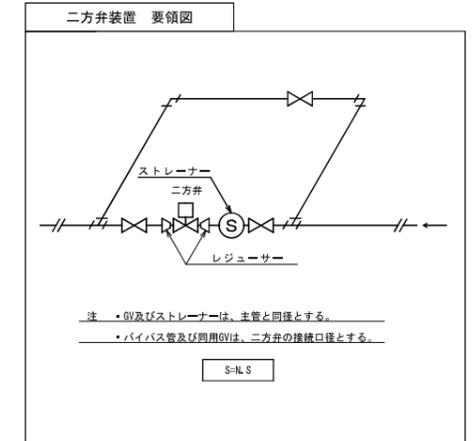
凡例
 は撤去とする。

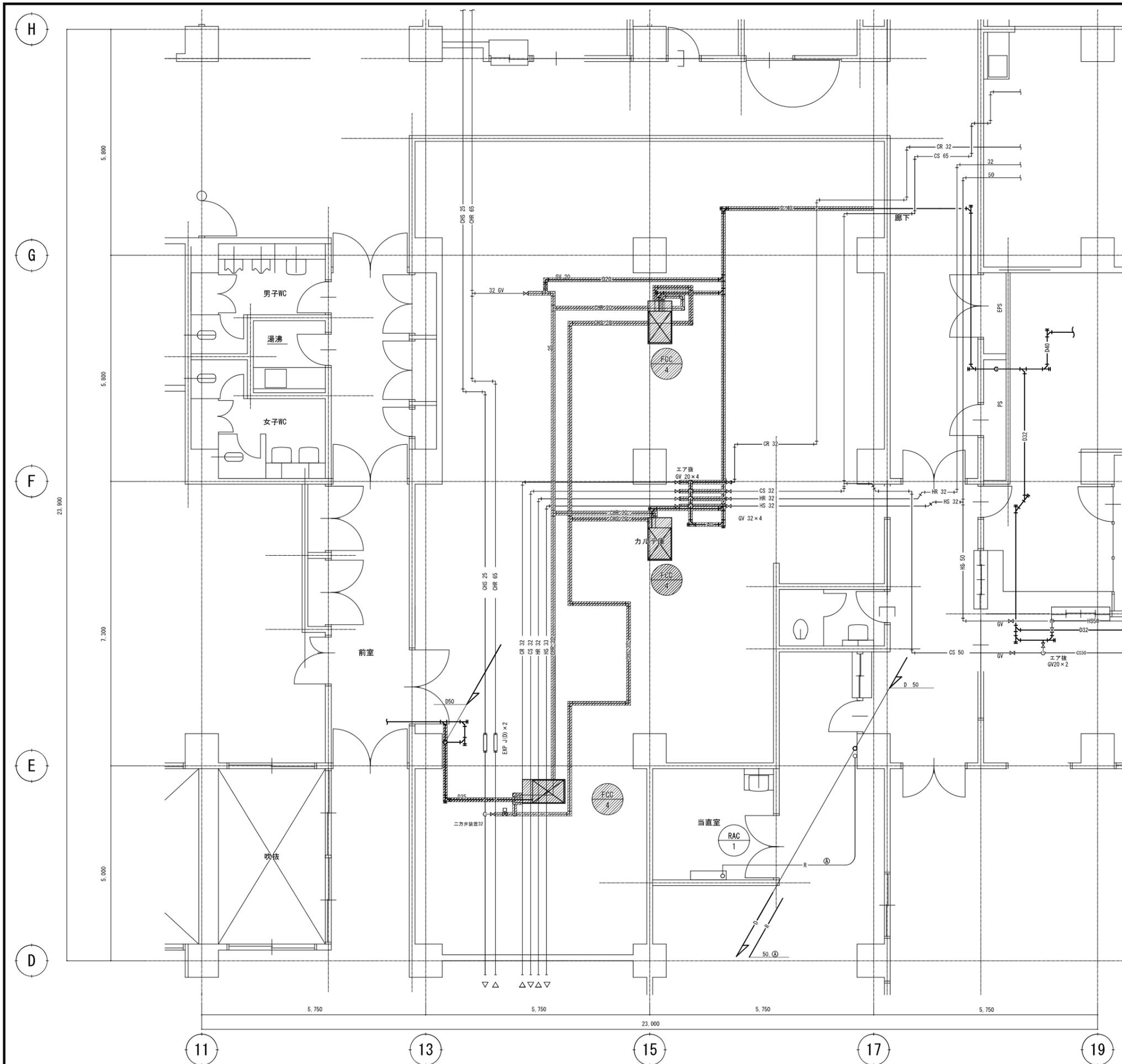


機器表

記号	名称	仕様	電源		数量	設置場所	備考		
			相	電圧 v					
FCC-2	ファンコイルユニット	型式：天井カセット形	1	100	42	4	1F 会議室	既設品	
		番手：#200						1F 事務室	
		冷房能力：SH 2.06kW							
		冷房能力：TH 2.54kW							
		暖房能力：4.73kW							
		水量：5.2 L/min							
		水圧損失：9.2 kPa							
		付属品：リモコンスイッチ(制御用)							
		接続付、防振吊金物							
FCC-3	ファンコイルユニット	型式：天井カセット型	1	100	40	1	1F 教休外廊室	既設品	
		番手：#300							
		冷房能力：SH 2.66kW							
		冷房能力：TH 3.46kW							
		暖房能力：6.13kW							
		水量：7.1 L/min							
		水圧損失：21.0 kPa							
		付属品：リモコンスイッチ(制御用)							
		接続付、防振吊金物							

冷水入口温度 7℃ 出口温度 14℃
 温水入口温度 43℃ 出口温度 36℃





機器表

記号	名称	仕様	電源		数量	設置場所	備考
			相	電圧 V			
FCC-4	ファンコイルユニット	型式: 天井カセット形	1	100	3	カルテ庫	
		冷房能力: SH 2.68kW					
		冷房能力: TH 3.49kW			2.84		
		暖房能力: SH 3.46kW			2.45		
		暖房能力: TH 3.13kW					
RAC-1	逆熱ポンプエアコン	型式: 壁掛型	1	100	1	当直室	
		冷房能力: 2.2kW			0.008		
		暖房能力: 2.8kW			0.026		
		室内機 ファン					
		室外機 ファン、圧縮機					

凡例

— R —	冷媒管
— D —	ドレン管
— CHS —	冷温水管(往)
— CHR —	冷温水管(還)
— CS —	冷水管(往)
— CR —	冷水管(還)
— HS —	温水管(往)
— HR —	温水管(還)

凡例

は撤去とする。